

# 4 衛 生 費

4, 743, 203, 923円

項 目	ページ
保健衛生費	
保健衛生費……………	356
環境政策費……………	381
葬祭費……………	397
病院事業費……………	398
清掃費	
廃棄物対策費……………	399



## 衛 生

衛生費には、市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費を計上している。

健康面としては、市民の健康の維持増進のため、総合長期計画基本構想に即した「市民が元気で健康なまち」の理念達成のため、諸計画にもとづく健康や食育の施策を推進し、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の協力のもと、健康の増進に努めた。

また、第4次青梅市健康増進計画および第3次青梅市食育推進計画を策定した。

市内の医療体制については、休日・夜間における初期救急医療を継続して実施するとともに、医療機関等と連携し、その構築に努めた。

母子保健事業では、平成31年4月から新生児の聴覚障害の早期発見および早期療育を図るため、新生児聴覚検査を開始した。また、母親学級をはじめ、乳幼児健診等の各種健康診査および相談事業等を実施した。

成人保健事業では、がん検診など各種健康診査を実施するとともにがん検診の受診率向上を目的とした「がん検診のおしらせ」の冊子を作成し、市内全戸に配布した。健康教育では、ロコモティブシンドロームや生活習慣病の予防について行い、疾病の早期発見、早期治療を促した。また「青梅市ウォーキングマップ」を作成し、からだを動かす楽しさを啓発することで行動変容の提案に努めた。

予防接種事業では、大人の風しん等予防接種助成事業および風しん抗体検査事業を継続して実施した。

平成30年8月に策定した「青梅ひとと生き物イキイキプラン」にもとづき、市内に生息する外来生物の防除を開始した。

墓地公園あり方検討委員会報告書を踏まえ、近年の墓地を取り巻く社会情勢やニーズ等の変化に対応した供給と管理の具体化を図るため樹林墓地を設置し、市民への供給を開始した。

地球温暖化対策として、新たに電気自動車を13台購入し、既存の庁用自動車との入れ替えを実施した。

廃棄物対策については、ごみ情報紙および広報にごみ減量・リサイクルに関する話題などを掲載し、市民のごみ減量・資源リサイクルの取組促進と意識啓発を図り、循環型社会づくりへの啓発普及に努めた。

ごみ減量啓発事業においては、令和2年7月のレジ袋有料化に向けて、ごみ減量に関するアンケートやエコバックの配布を行い、マイバック持参によるレジ袋削減について啓発を行った。

ごみ収集については、毎年全戸配布している青梅市ごみ収集カレンダーのページ数を増やし、ごみの出し方や分別について掲載するなど内容を充実させるとともに、カレンダー下部に広告を掲載した。また、ごみの分別等の問い合わせに対応するため、令和元年8月からA I（人工知能）を活用した対話形式による自動応答の分別案内サービスを開始した。

粗大ごみ収集については、委託による運び出しサービスを開始した。

リサイクルセンター施設については、定期的な点検および改修を行い、安全操業に努めた。また、容器包装プラスチック処理ライン設置工事を開始した。

施設見学および出前講座においては、収集されたごみの分別や処理方法、資源化の推進についての説明を行った。

し尿処理施設については、4月からこれまでの青梅市、福生市、瑞穂町のし尿に加えて、新たに羽村市のし尿と青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町の浄化槽汚泥の投入を開始した。

（歳出 4 衛 生 費）

保 健 衛 生 費

1, 791, 910, 560円

○ 保 健 衛 生 費 ( 733, 134, 115円)

[健康課]

1 保健衛生事務経費

(1) 青梅市三師会事業補助金 450千円

一般社団法人青梅市医師会、青梅市歯科医師会、一般社団法人青梅市薬剤師会の会員によって組織する青梅市三師会に、市民の疾病予防、公衆衛生に関する啓発活動ならびに保健衛生知識の普及向上等のため補助金を交付した。

(2) 青梅市使用済み注射針回収事業補助金 100千円

一般社団法人青梅市薬剤師会が実施する使用済みの注射針回収事業に要する経費の一部を補助することにより、使用済み注射針の適正な処理を図った。

(3) 精神保健および精神障害者福祉に関する法律による入院同意

精神保健および精神障害者福祉に関する法律第33条の規定による医療保護入院のうち、市長が新たに入院することに同意した者は22人であり、退院等により解除となった者は9人であった。(年度末入院者数90人)

(4) 大気汚染健康障害者医療費助成事務 (単位：件)

区 分		件 数	区 分	件 数
交 付 申 請	新 規	5	医 療 券 等 受 理 報 告 書	7
	更 新	330	医 療 券 再 交 付 申 請 書	3
変 更 届		99	合 計	444

(5) 普通救命講習会 (単位：人)

区 分	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	合 計
実 施 日	6.29	9.10	12.13	3.23	
受 講 者 数	20	29	29	中止	78

※ 第4回は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。

2 休日等診療経費

(1) 休日および夜間診療

ア 診療業務委託先 一般社団法人青梅市医師会  
 イ 診療時間 休日診療 午前9時～午後5時  
 休日夜間診療 午後5時～午後10時  
 月曜日から金曜日 午後7時45分～午後10時45分  
 土曜日 午後6時～午後9時  
 ウ 場 所 健康センター内青梅休日診療所

エ 診療日数および患者数

(単位：日、人)

区 分	診療 日数	患 者 数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外		
休 日 診 療	76	3,169	1,838	1,331	2,912	257	41.7
休日夜間診療	76	1,319	747	572	1,231	88	17.4
平日夜間診療	290	1,484	820	664	1,404	80	5.1
合 計		5,972	3,405	2,567	5,547	425	

※ 診療日数は実日数である。

(2) 休日歯科診療

ア 診療業務委託先 青梅市歯科医師会

イ 診 療 時 間 午前9時～午後5時

ウ 場 所 健康センター内東青梅休日歯科診療所

エ 診療日数および患者数

(単位：日、人)

診 療 日 数	患 者 数	大 人		小 人		市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外			
76	341	298	43	324	17	4.5		

(3) 休日および夜間保険調剤

ア 調剤業務委託先 一般社団法人青梅市薬剤師会

イ 調 剤 時 間 休日調剤 午前9時～午後5時

休日夜間調剤 午後5時～午後10時

月曜日から金曜日 午後7時45分～午後10時45分

土曜日 午後6時～午後9時

ウ 場 所 健康センター内青梅休日薬局

エ 調剤日数および患者数

(単位：日、人)

区 分	調剤 日数	患 者 数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外		
休 日 調 剤	76	2,895	1,779	1,116	2,670	225	38.1
休日夜間調剤	76	1,236	675	561	1,151	85	16.3
平日夜間調剤	290	1,269	717	552	1,200	69	4.4
合 計		5,400	3,171	2,229	5,021	379	

※ 調剤日数は実日数である。

### 3 診療所経費

#### (1) 御岳山診療所

- ア 診療業務委託先 医療法人社団 沢医会  
 イ 診療日 週1日  
 ウ 診療時間 午後1時30分～午後3時30分

エ 診療日数および患者数（単位：日、人）

診療日数	患者数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
	患	大人	小人	市民	市民以外	
45	10	10	0	10	0	0.2

#### (2) その他診療所

診療所名	所在地	青梅市診療施設契約者
梅郷診療所	青梅市梅郷3-755-1	医師 江本 浩
沢井診療所	青梅市沢井2-850-3	医療法人社団 沢医会
小曾木診療所	青梅市小曾木4-2787-3	医療法人社団 長生会

### 4 献血推進経費

#### (1) 献血の実績

市内会場において1,434人の献血があり、これは目標数1,710人に対して83.6パーセントの達成率であった。

#### (2) 青梅市献血推進協議会

6月27日に市役所2階204会議室において開催した。

#### (3) 献血者への記念品贈呈

市内会場での献血者全員に、その都度記念品の贈呈を行った。

### 5 健康推進事業経費

#### (1) おうめ健康まつり

「第50回おうめ健康まつり」（主催：青梅市三師会、青梅市、協賛：青梅市接骨師会、薬物乱用防止推進青梅・奥多摩地区協議会、西多摩地区保護司会青梅分区、西東京農業協同組合、青梅市民生児童委員合同協議会）を5月19日（日）に青梅市役所1階エントランスロビーおよび2階会議室等で実施した。

「家族ぐるみの健康づくり」をテーマとし、歯磨き指導、地場野菜の即売、各種相談、生活習慣病の予防、ヘルスチェック、骨密度測定、ランニングのための姿勢づくりストレッチ教室、転倒予防教室および梅っこ体操講習会等を実施するとともに、柔道家の古賀稔彦氏を講師に招き「夢の実現～挑戦することの大切さ～」と題して講演を行い、市民の健康に対する意識の向上に努めた。（延参加者5,700人）

## (2) 青梅市健康増進計画推進会議委員

氏名	選出区分	備考
◎ 大木幸子	学識経験者	杏林大学保健学部教授
○ 土田大介	医療保健関係者の代表	(一社)青梅市医師会副会長
本間祥継	〃	青梅市歯科医師会副会長
岩浪登	〃	(一社)青梅市薬剤師会会長
小林啓子	〃	西多摩保健所地域保健推進担当課長
菊池一夫	企業関係者の代表	(株)クレانسメアード代表取締役
宮口泉	市民団体の代表	青梅市自治会連合会副会長
野村欣史	〃	青梅市スポーツ推進委員協議会副会長
永井寅一	公募の市民	(8.31退任)

任期：令和元年9月1日～令和3年8月31日 ◎は会長、○は副会長

なお、7月1日、8月27日、11月1日および1月29日に推進会議を開催した。

## (3) 自殺予防対策事業

## ア 講座の開催

(単位：人)

区分	講師	実施日	参加人数	会場
ゲートキーパー 養成講座	臨床心理士	9. 9	50	市役所
		3. 3	中止	
		3.11	中止	

※ 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。

## イ 啓発

広報おうめや市ホームページで自殺予防を周知するとともに、おうめ健康まつりや産業観光まつりにおいて啓発に努めた。さらに、平成23年9月に導入した、心の状態を自己認知できるメンタルチェックシステム「こころの体温計」について市民の周知を図り、引き続き活用した。

## (4) 骨髄ドナー支援事業助成金

(単位：件、千円)

区分	件数	補助金額	備考
提供者	0	0	通院、入院、面接等に要した日数に提供者は2万円、事業所には1万円を乗じた金額
事業所	0	0	

なお、3月11日に市役所で実施した献血会場内の骨髄ドナー登録窓口では、受付者9名中7名がドナー登録を行った。

## 6 子育て世代包括支援センター事業経費

### (1) 子育て世代包括支援センター

妊娠・出産・子育てについての総合窓口として、保健師や助産師等の資格を持つ「母子保健コーディネーター」が常駐し、妊娠期から子育て期の切れ目ない包括的な相談支援を行うことを目的に、妊娠・出産・育児に不安を抱える妊産婦に寄り添い、安心して育児ができるようサポート事業を実施した。(単位：件)

妊婦面接数		妊婦		産婦		子育て期	
妊娠届出時	転入時	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
661	50	86	7	110	42	91	5

### (2) 産後ケア事業

出産後4か月以内の母子に対する心身のケアおよび育児のサポート等を行うことにより、産後も安心して子育てができるよう、日帰り型（デイケア）と訪問型のサービスを助産院に委託し事業を実施した。また、令和元年10月から宿泊型のサービスを追加した。(単位：人、回)

区分	出産対象 案内者数	相談者数	申請者数	利用回数
宿泊型	379	30	5	16
日帰り型（デイケア）	711	30	1	1
訪問型	711	30	13	18

## 7 出産・子育て応援事業経費

### (1) 育児パッケージの贈呈

妊娠期から出産期に合わせて、子育て家庭に対して保健師等が面接を実施し、育児パッケージの贈呈を行った。

贈呈対象件数 621件

### (2) 妊娠届出書の受理・母子健康手帳の交付 (単位：件)

区分	健康課	市民課 (夜間窓口)	出張所				合計
			梅郷	沢井	小曾木	成木	
妊娠届出書の受理	669	16	0	0	0	0	685
母子健康手帳の交付	676	16	0	0	0	0	692

## 8 妊婦健康診査経費

### (1) 母親（両親）学級

親となる心構えを伝え、安心して出産ができるよう、妊娠中の不安の解消を図るとともに、必要な指導および助言を行った。

区分	実施回数	延参加者数	会場
プレママクラス（母性科）	年7コース	149人	健康センター
体験コース	6回	41人	
両親コース（土曜日）	6回	146人	



(2) 母親学級卒業生の保育園見学実習

核家族化・少子化が進み、育児を学習する機会が少なくなっている母親の育児不安を軽減し「母親の育児力」を向上させるために、保育園の協力により、見学実習を2保育園で実施した。(単位：回、人)

見学実習場所	実施回数	参加者数	見学実習場所	実施回数	参加者数
新町西保育園	2	9	青梅梨の木保育園	3	6

(3) 妊婦歯科健康診査

妊婦の歯科疾患の早期発見と、妊婦の歯科保健意識や健康観の向上を図った。

(単位：回、人、%)

回数	申込人員	実施人員	受診率	健診結果人数	
6	79	73	92.4	異常なし	26
				要指導	17
				要歯石除去	13
				要治療	17

(4) 妊婦健康診査

妊婦の健康管理に努め、妊婦および乳児の死亡率の低下を図るとともに、流・早産、妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延の防止等、母・児の障害予防を目的に東京都内医療機関に委託し、妊婦健康診査・超音波検査と子宮頸がん検査を実施した。

ア 妊婦健康診査

医療機関へ委託のため、随時受診

(単位：人、週)

区分	実施人員	平均受診週数	健診結果数		区分	実施人員	平均受診週数	健診結果数	
1回目	623	11.2	異常なし	596	9回目	584	31.8	異常なし	550
			異常あり	27				異常あり	34
2回目	643	13.2	異常なし	633	10回目	564	33.8	異常なし	534
			異常あり	10				異常あり	30
3回目	635	16.8	異常なし	625	11回目	538	35.5	異常なし	516
			異常あり	10				異常あり	22
4回目	629	20.3	異常なし	616	12回目	506	36.8	異常なし	491
			異常あり	13				異常あり	15
5回目	627	23.4	異常なし	613	13回目	396	37.7	異常なし	384
			異常あり	14				異常あり	12
6回目	622	25.9	異常なし	605	14回目	274	38.6	異常なし	264
			異常あり	17				異常あり	10
7回目	626	28.0	異常なし	598	超音波	593	26.8	異常なし	582
			異常あり	28				その他	11
8回目	608	29.9	異常なし	577	子宮頸がん	528	11.2	異常なし	516
			異常あり	31				その他	12

(歳出 4 衛生費)

イ 新生児聴覚検査

平成31年4月から新生児の聴覚障害の早期発見および早期療育を図るため、東京都内医療機関に委託し、新生児聴覚検査を開始した。(単位：人)

実施人員	総合判定		
	異常なし	耳鼻科受診必要	その他
564	556	6	2

ウ 里帰り等妊婦健康診査等

都外および助産所において、妊婦健康診査等を行った者に対して受診費助成事業を行った。

(単位：人)

区 分	申請人員	区 分	申請人員	区 分	申請人員
1 回目	14	7 回目	20	13 回目	52
2 回目	13	8 回目	28	14 回目	31
3 回目	14	9 回目	43	子宮頸がん	14
4 回目	14	10 回目	58	超音波	22
5 回目	14	11 回目	58	聴覚検査	30
6 回目	19	12 回目	57		

9 産婦健康診査経費

妊娠高血圧症候群や妊娠中の貧血の後遺症を早期発見し、適切な治療につなげることを目的に、3～4か月児健康診査と同時に産婦健康診査を実施した。

産婦健康診査

(単位：回、人、%)

回数	対象人員	実施人員	受診率	助産師検査		
24 〔3～4 か月児 健診と 同時実施〕	690	683	99.0	尿 検 査	実施人員	61
					異常なし	55
					たんぱく・糖陽性	6
				血 圧 測 定	実施人員	25
					異常なし	20
					境界域	2
					低血圧	3
高血圧	0					

10 乳児健康診査経費

(1) 母親学級育児科

一般健康診査等により、運動発達遅滞または精神発達遅滞の疑いがもたれ、グループワーク等を通して子育て支援が必要と判断された乳児および保護者ならびに育児に不安や問題があると判断された保護者等を対象に、育児力の向上と育児不安の解消に努めた。

区 分	実施回数	延参加者数	場 所
ステップクラス（乳児）	年 3コース	73人	健康センター

(2) ブックスタート事業

生後4か月までの赤ちゃんを全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施の際に、絵本を配付した。

対 象 件 数 (平成31年2月～令和2年1月出生分)	絵 本 配 付 数
706件	672冊

(3) 乳児健康診査

乳児を対象に、身体発育および精神発達に必要な健康診査を実施することにより、適正な指導を行った。

なお、健康診査の結果、必要な方には経過観察健康診査等を紹介した。

(単位：回、人、%)

区 分	回 数	対象人員	実施人員	受診率	健 診 結 果	
3～4か月児 健康診査	24 〔 毎 月 第1・3 水曜日 〕	698	691	99.0	異常なし	432
					問題あり	136
					個別相談他	225
6～7か月児 健康診査	随 時 〔 医療機関 委 託 〕	698	626	89.7	異常なし	596
					問題あり	6
					疑 い	16
9～10か月児 健康診査	随 時 〔 医療機関 委 託 〕	698	618	88.5	異常なし	598
					問題あり	7
					疑 い	8

※ 健診結果は同一人が複数項に該当する場合がある。

(4) 新生児等訪問指導

妊産婦が安心して出産や育児に取り組むことができるよう支援するとともに、新生児の発育、栄養、生活環境、疾病・事故予防等の育児上重要な事項について家庭訪問のうえ適切な指導を行い、疾病や異常の早期発見・早期治療について助言した。

(単位：件)

妊 婦	産 婦	新 生 児	乳 児	幼 児	小学生以上	合 計
93	509	229	325	29	5	1,190

(5) 低体重児の届出

体重2,500グラム未満の乳児の出生に伴う届出を受理した。

受理件数 61件

(6) 未熟児の訪問指導

養育上必要があると認める未熟児に対し、訪問指導を行った。

訪問件数 16件

(歳出 4 衛 生 費)

## 11 1歳6か月児健診経費

### (1) 母親学級育児科

一般健康診査等により、運動発達遅滞または精神発達遅滞の疑いがもたれ、グループワーク等を通して子育て支援が必要と判断された乳児および保護者ならびに育児に不安や問題があると判断された保護者等を対象に、育児力の向上と育児不安の解消に努めた。

区 分	実 施 回 数	延 参 加 者 数	会 場
ステップクラス（幼児）	年 3 コース	100人	健康センター

### (2) 乳幼児健康相談

（単位：回、件）

区 分	期 日	回 数	相 談 件 数 等	会 場
乳 幼 児 健 康 相 談	月 1 回	12	166	健康センター
心 理 相 談	月 4～5 回	52	284	
合 計		64	450	

### (3) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に、身体発達および精神発達に必要な健康診査を実施することにより、適正な指導を行うとともにむし歯予防等に関する指導を行った。

なお、健康診査の結果、必要な方には経過観察健康診査等を紹介した。

（単位：回、人、％）

区 分	回 数	対 象 人 員	実 施 人 員	受 診 率	健 診 結 果	
1歳6か月児 健康診査	22 （毎月 第1・3 金曜日）	674	669	99.3	異常なし	551
					問題あり	78
					個別相談他	102
1歳6か月児 歯科健康診査	22 （毎月 第1・3 金曜日）	674	668	99.1	異常なし	200
					要指導	354
					要観察	107
					要医療	7

※ 健診結果は同一人が複数項に該当する場合がある。

※ 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

## 12 3歳児健康診査経費

### 3歳児健康診査

3歳児を対象に、身体発達および精神発達に必要な健康診査を実施することにより、適正な指導を行うとともにむし歯予防等に関する指導を行った。

なお、健康診査の結果、必要な方には経過観察健康診査等を紹介した。

(単位：回、人、%)

区 分	回 数	対象人員	実施人員	受診率	健 診 結 果	
3 歳 児 健康診査	22  ( 毎 月 ) ( 第 1・3 火 曜 日 )	798	770	96.5	異 常 な し	596
					問 題 あ り	120
					個 別 相 談 他	156
3 歳 児 歯科健康診査	( 毎 月 ) ( 第 1・3 火 曜 日 )	798	767	96.1	異 常 な し	176
					要 指 導	347
					要 観 察	168
					要 医 療	76

※ 健診結果は同一人が複数項に該当する場合がある。

※ 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

### 13 乳幼児経過観察・発達健康診査【乳児健康診査経費・1歳6か月児健診経費】

乳幼児健康診査等により、発育不全や運動発達遅滞等の疑いがある乳幼児に対して小児科および小児神経学の立場から、適切な指導等育児支援を行い、障害の早期発見や早期療育に努めた。

#### (1) 経過観察健康診査

(単位：回、人、%)

回 数	対象人員	実 施 人 員			健 診 結 果	
23 ( 毎 月 ) ( 第 2・4 火 曜 日 )	380	総 数	初診者	再診者	初診者の 有所見者	初診者の 有所見率
		332	330	2	12	3.6

※ 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止した。

#### (2) 発達健康診査

(単位：回、人)

回 数	対 象 人 員	実 施 人 員			初 診 者 の 有 所 見 者 数	
		総 数	初 診 者	再 診 者		
12 ( 毎 月 ) ( 第 2 火 曜 日 )	72	58	36	22	異 常 な し	6
					精 密 健 診	8
					受 診 勧 奨	3
					他 機 関 管 理 中	5
					経 過 観 察	13
					一 時 的 指 導	1

### 14 精密健康診査【乳児健康診査経費・1歳6か月児健診経費・3歳児健康診査経費】

各種健康診査の結果、疾病等の疑いがある者に対し、より精密な健康診査を行うために受診票を交付し、専門医療機関を紹介した。

#### (1) 受診票発行状況

(単位：件)

妊 婦	新 生 児 聴 覚	乳 児	1歳6か月児	3 歳 児 一 般	3 歳 児 視 力	3 歳 児 聴 覚	合 計
0	3	11	5	11	22	1	53

(歳出 4 衛 生 費)

## (2) 受診結果

(単位：件)

異常なし	経過観察	要治療	要手術	合計
8	35	5	0	48

## 15 保健指導【子育て世代包括支援センター事業経費・妊婦健康診査経費・産婦健康診査経費・乳児健康診査経費・1歳6か月児健診経費・3歳児健康診査経費】

妊婦・産婦および乳幼児や小学生の保護者の相談に対し、各保健事業での面接相談または電話相談を実施した。

(単位：件)

区分	面接相談	電話相談	計	会場
妊婦	1,277	207	1,484	健康センター
産婦	325	675	1,000	
乳児	1,258	748	2,006	
幼児	1,730	471	2,201	
小学生以上	6	15	21	
合計	4,596	2,116	6,712	

## 16 栄養・歯科指導【乳幼児歯科予防相談経費・母子栄養管理経費】

各種保健事業以外で妊産婦・乳幼児の栄養および歯科について管理栄養士または歯科衛生士による相談を実施した。

(単位：件)

区分	面接相談	電話相談	計	会場
栄養指導	1	10	11	健康センター
歯科指導	11	2	13	

## 17 乳幼児歯科予防・相談経費

## (1) 幼児歯科健康診査（予防処置）

2歳児と2歳6か月児を対象に、健康診査、指導および予防処置を行った。

(単位：回、人、%)

区分	回数	申込人員	実施人員	受診率	健診結果人数	
歯科健康診査	22 (毎月第2・4木曜日)	950	702	73.9	むし歯なし	691
					むし歯あり	11
予防処置			697	73.4		
歯科健康教育			700	73.7		

※ 予防処置と歯科健康教育は歯科健診と別日に行っていたが、今年度より歯科健診と同日に実施するようになった。

※ 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) むし歯予防教室

歯が生え始める8か月から12か月までの乳児と母親等と、永久歯が生え始める5歳児を対象に、むし歯予防教室を実施した。

(単位：回、人)

区 分	実 施 回 数	参 加 者 数	会 場
むし歯予防教室	11	102	健康センター
5歳児むし歯予防教室	1	14	市役所(健康まつり)
	1	22	東青梅市民センター
	1	17	新町市民センター

18 母子栄養管理経費

(1) 食育事業

ア 親子食育講座(親子クッキング)

実施日	実 施 場 所	参加者数	実施日	実 施 場 所	参加者数
6.15	河辺市民センター	12人	11.16	新町市民センター	23人

イ 市民食育講演会

実施日	実施場所	講 師	テーマ	参加者数
10.27	市役所 2階会議室	野菜ソムリエプロ 田代 由紀子 氏	3分でもう1品!もっと手軽に 野菜を食べよう!	20人

ウ 食育推進会議

氏 名	選 出 区 分	備 考
◎ 田 中 弘 之	学 識 経 験 者	東京家政学院大学教授
○ 高 野 真	医療保健関係者の代表	青梅市歯科医師会副会長
清 水 省 吾	〃	西多摩保健所生活環境安全課長
大 越 文 男	農 業 関 係 者 の 代 表	青梅市農業委員会委員
青 木 広	〃	西東京農業協同組合代表理事常務
嶋 崎 雄 幸	企 業 関 係 者 の 代 表	嶋崎税務会計事務所副所長
照 沼 り か	〃	生活協同組合コープみらい 8ブロック委員会 ブロック委員
武 下 正 弘	教 育 関 係 の 代 表	市立友田小学校校長 (8.31退任)
高 橋 章 次	〃	市立第二中学校校長 (9.1就任)
園 田 陽 子	〃	梅郷保育園園長 (8.31退任)
中 村 ヤエ子	〃	二俣尾保育園園長 (9.1就任)
小柳津 みどり	公 募 の 市 民	(8.31退任)
高 橋 悦 子	〃	(9.1就任)

任期：令和元年9月1日～令和3年8月31日 ◎は会長、○は副会長

なお、6月20日、8月29日、10月24日および2月3日に推進会議を開催した。

(歳出 4 衛 生 費)

(2) 妊婦食教室・離乳食教室・幼児食教室

幼児食教室において託児を実施し、参加者増を図った。

(単位：回、人)

区 分	妊婦食教室	離 乳 食 教 室		グランパ グランマ のための 離乳食教室	幼 児 食 教 室
		初 期	中 後 期		
対 象	妊 婦	母 親 等 と 4～5か月児	母 親 等 と 6～9か月児	祖 父 母	2～5歳位の 幼児を持つ母親等
実 施 回 数	2	11	5	1	3
参 加 者 数	5	220	118	3	38

※ 離乳食教室初期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止した。

(3) 夏休みこども料理教室

実施日	実 施 場 所	参加者数	実施日	実 施 場 所	参加者数
7.25	東青梅市民センター	17人	8.14	新町市民センター	18人

19 未熟児養育医療給付事業経費

(1) 未熟児養育医療給付

養育のため病院または診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療給付事業を行った。

認定件数 18件 給付額 5,343千円

(2) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

小児慢性特定疾病医療受給者証の交付申請等の受付事務を行った。

(単位：件)

区 分	件 数	区 分	件 数
交 付 申 請	83	変 更 届	18
重 症 申 請	0	医 療 券 等 受 理 報 告 書	3
再 交 付 申 請	0	合 計	104

(3) 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付

小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活に必要な用具の給付を行った。

認定件数 4件 給付額 188千円

20 成人保健事業経費

(1) 健康教育

生活習慣病の予防とその他の健康増進に関する正しい知識の普及啓発を図り、市民の健康の保持増進に資することを目的とし、健康教育事業を実施した。



ア 集団健康教育事業

(単位：人)

内 容		講 師	実施日 (実施回数)	参加者数	会 場
高血圧予防講座	講義	医師	1. 23	41	市 役 所
		管理栄養士	2. 5	36	
		薬剤師	1. 30	32	
糖尿病予防講座	講義	医師	11. 7	34	市 役 所
		管理栄養士	11. 13	16	健康センター
脂質異常症予防講座	講義	医師	12. 23	53	市 役 所
		管理栄養士	10. 22	41	
がん予防講座 (肺がん編)	講義	医師	8. 1	26	健康センター
骨粗しょう症予防講座	講義	医師	7. 6	44	市 役 所
		管理栄養士	7. 12	40	健康センター
	運動実践・ 講義・試食	運動指導員 管理栄養士 保健師	7. 8	16	健康センター
	保健指導 パネル展示	保健師 管理栄養士	6月～7月 (全9回)	○ 793	健康センター
体幹トレーニング教室	運動実践 ・講義	運動指導員 ・保健師	4月～1月 (7回)	○ 127	総合体育館等
ロコモティブ シンドローム予防			4月～11月 (10回)	○ 147	新 町 市 民 センター体育館
ヘルスアップ教室			4月～12月 (16回)	○ 128	健康センター
出前・出張講座	講義	保健師	12月・2月 (2回)	○ 88	河 辺 市 民 センター等

※ ○印は延べ人数

イ フォローアップ指導事業

(単位：人)

内 容		講 師	実施期間	延参加者	会 場
糖尿病予防講座	講義	医師	11月～1月 (全6回)	35	市役所・ 健康セン ター等
		管理栄養士			
個別指導・目標設定	講義・個別指導	保健師			
集団指導・目標評価	講義	歯科衛生士			
	調理実習・講義	管理栄養士			
	運動実践・講義	運動指導員			

ウ 啓発事業

(単位：人)

内 容	実施期間	延べ人数	会 場
各種がんの予防	6、7、10月 (16日間)	3,789	健康センター
生活習慣病の予防	9月 (10日間)	300	市役所
女性の健康づくり	3月 (6日間)	120	市役所

(歳出 4 衛 生 費)

(2) 健康相談

健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言および支援を行うことにより、市民の健康管理に資することを目的とし、健康相談を実施した。

ア 個別相談

(単位：回、人)

内 容	担 当	実施回数	相談者数	会 場
健康相談	保健師	33	557	健康センター・ 中央図書館・市役所等
栄養相談	管理栄養士	20	238	

イ その他の相談（保健師・管理栄養士・歯科衛生士）

面接相談 50件 電話相談 115件

21 健康診査事業経費

生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療を促すため、検診（健診）事業を実施した。

(1) 受診勧奨

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象として、はがきにより各種検診の勧奨を行った。

勧奨者数 18,601人

(2) 血清クレアチニンおよび尿酸検査

慢性腎臓病の早期発見のため、特定健康診査等と同時に実施した。

受診者数 22,847人

(3) 健康診査

ア 実施期間 6月1日から11月30日まで

イ 対象者 40歳以上の者のうち、生活保護や中国残留邦人の支援給付を受けている者

ウ 実施場所 市内41医療機関

エ 検査項目 問診、身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図、眼底

オ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年 齢 区 分		40～49		50～59		60～69		70以上		合 計	
受 診 者 数	男	7		13		23		22		65	180 (100.0)
	女	8	15	6	19	22	45	79	101	115	
異 常 な し	男	0		0		3		2		5	9 (5.0)
	女	0	0	1	1	1	4	2	4	4	
要 指 導	男	2		3		4		1		10	23 (12.8)
	女	2	4	2	5	5	9	4	5	13	
要 医 療	男	5		10		16		19		50	148 (82.2)
	女	6	11	3	13	16	32	73	92	98	

※ 合計欄の（ ）内の数字は受診者数に対する割合である。

(4) 骨密度検診

ア 実施期間 6月25日から7月1日のうち5日間

イ 対象者 18歳以上の女性

ウ 実施場所 健康センター

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計
受診者数	5	18	54	146	304	266	793 (100.0)
異常なし	5	18	50	108	72	28	281 (35.4)
要指導	0	0	4	29	112	87	232 (29.3)
要精密検査	0	0	0	9	120	151	280 (35.3)

※ 合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(5) 肝炎ウイルス検診

ア 実施期間 6月1日から11月30日まで

イ 対象者

(ア) 40歳になる者

(イ) 41歳以上で過去に当該検査を受けたことのない者

ウ 実施場所 市内41医療機関

エ B型肝炎ウイルス検診年齢別受診者数および結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40~49		50~59		60~69		70以上		合計		
受診者数	男	27	57	17	52	41	85	54	115	139	309 (100.0)
	女	30		35		44		61		170	
陰性	男	27	57	17	52	41	85	54	115	139	309 (100.0)
	女	30		35		44		61		170	
陽性	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	女	0		0		0		0		0	

※ 合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

オ C型肝炎ウイルス検診年齢別受診者数および結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40~49		50~59		60~69		70以上		合計		
受診者数	男	27	57	17	51	41	85	54	115	139	308 (100.0)
	女	30		34		44		61		169	
感染していない可能性が高い	男	27	57	17	50	41	85	54	114	139	306 (99.3)
	女	30		33		44		60		167	
感染している可能性が高い	男	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2 (0.7)
	女	0		1		0		1		2	

※ 合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(6) 成人歯科検診

ア 実施期間 9月2日から11月30日まで

イ 対象者 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の者

ウ 実施場所 市内39医療機関

エ 年齢別受診者数および結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	合計
受診者数	男	9	7	2	4	4	4	9	10	8	12	28	97
	女	5	3	5	5	12	11	14	22	17	28	40	162
	計	14	10	7	9	16	15	23	32	25	40	68	259 (100.0)
異常なし	男	2	1	0	2	0	1	1	2	0	0	1	10
	女	1	1	0	0	2	3	3	1	0	1	1	13
	計	3	2	0	2	2	4	4	3	0	1	2	23 (8.9)
要指導	男	0	3	1	0	1	2	2	2	2	1	1	15
	女	1	0	1	2	0	0	0	1	3	1	3	12
	計	1	3	2	2	1	2	2	3	5	2	4	27 (10.4)
要精密検査	男	7	3	1	2	3	1	6	6	6	11	26	72
	女	3	2	4	3	10	8	11	20	14	26	36	137
	計	10	5	5	5	13	9	17	26	20	37	62	209 (80.7)

※ 合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(7) 後期高齢者歯科健康診査

ア 実施期間 9月2日から11月30日まで

イ 対象者 75歳以上の者のうち、生活保護や中国残留邦人の支援給付を受けている者

ウ 実施場所 市内39医療機関

エ 年齢別受診者数は、75～79歳代の男性が2人、結果は2人とも要精密検査

22 がん検診事業経費

(1) 胃がん検診

ア 実施期間

(ア) 6月6日から6月19日までのうち9日間

(イ) 10月1日から10月28日までのうち9日間

イ 対象者 35歳以上の者

ウ 実施場所 健康センター

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		35～39		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
受診者数	男	27		68		55		204		411		765	1,750 (100.0)
	女	38	65	114	182	147	202	314	518	372	783	985	
異常なし	男	27		66		52		195		371		711	1,641 (93.8)
	女	36	63	114	180	141	193	291	486	348	719	930	
要精密検査	男	0		2		3		9		40		54	109 (6.2)
	女	2	2	0	2	6	9	23	32	24	64	55	

※ 合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
109	66 (100.0)	51 (77.3)	0 (0.0)	15 (22.7)

※ ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(2) 子宮頸がん検診

ア 実施期間 10月1日から3月31日まで

イ 対象者 20歳以上で前年度検診を受診していない女性

ウ 実施場所 市内3医療機関

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合 計
受診者数	95	184	379	417	549	382	2,006 (100.0)
異常なし	91	178	374	404	543	382	1,972 (98.3)
要精密検査	3	6	5	9	5	0	28 (1.4)
判定不能	1	0	0	4	1	0	6 (0.3)

※ 合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果			
		異常なし	が ん	がんの疑い	そ の 他
28	14 (100.0)	7 (50.0)	1 (7.1)	0 (0.0)	6 (42.9)

※ ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(3) 乳がん検診

ア 実施期間 10月1日から3月31日まで

イ 対象者 40歳以上で前年度検診を受診していない女性

ウ 実施場所 健康センター、市内1医療機関および市外2医療機関

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40~49	50~59	60~69	70以上	合 計
受診者数	441	542	731	556	2,270 (100.0)
異常なし	393	490	691	526	2,100 (92.5)
再検査	16	25	11	9	61 (2.7)
要精密検査	32	27	29	21	109 (4.8)

※ 合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
109	80 (100.0)	43 (53.8)	8 (10.0)	29 (36.2)

※ ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(歳出 4 衛 生 費)

(4) 肺がん検診

ア 実施期間

(ア) 6月6日から6月19日までのうち9日間

(イ) 10月1日から10月28日までのうち9日間

イ 対象者 40歳以上の者

喀痰検査は、50歳以上で喫煙指数（1日当たりの喫煙本数×喫煙年数）が600を超える者

ウ 実施場所 健康センター

エ 年齢別受診者数および判定結果

（単位：歳、人、％）

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
受診者数	男	71		64		223		508		866	2,039 (100.0)
	女	115	186	164	228	375	598	519	1,027	1,173	
異常なし	男	71		64		220		497		852	2,011 (98.6)
	女	114	185	161	225	372	592	512	1,009	1,159	
要精密検査	男	0		0		3		11		14	28 (1.4)
	女	1	1	3	3	3	6	7	18	14	

※ 合計欄の（ ）内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 喀痰検査

（単位：歳、人、％）

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
喀痰検査 受診者数	男	0		12		50		65		127	147 (100.0)
	女	0	0	7	19	8	58	5	70	20	
異常なし	男	0		12		50		65		127	147 (100.0)
	女	0	0	7	19	8	58	5	70	20	

※ 合計欄の（ ）内の数字は受診者数に対する割合である。

カ 精密検査受診結果

（単位：人、％）

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
18	18 (100.0)	3 (16.7)	0 (0.0)	15 (83.3)

※ （ ）内の数字は受診者数に対する割合である。

(5) 大腸がん検診

ア 実施期間 6月1日から12月7日まで

イ 対象者 40歳以上の者

ウ 実施場所 市内41医療機関

## エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40～49		50～59		60～69		70以上		合計		
受診者数	男	311	749	399	1,108	1,251	3,485	4,369	10,456	6,330	15,798 (100.0)
	女	438		709		2,234		6,087		9,468	
陰性	男	294	707	380	1,060	1,152	3,279	3,877	9,502	5,703	14,548 (92.1)
	女	413		680		2,127		5,625		8,845	
陽性	男	16	40	17	46	96	199	481	928	610	1,213 (7.7)
	女	24		29		103		447		603	
検体不良	男	1	2	2	2	3	7	11	26	17	37 (0.2)
	女	1		0		4		15		20	

※ 合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

## オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結果		
		異常なし	がん	その他
1,213	337 (100.0)	82 (24.3)	18 (5.3)	237 (70.3)

※ ( )内の数字は受診者数に対する割合である。

## 23 がん検診推進事業経費

## (1) 実施期間

- ア 子宮頸がん検診 9月2日から2月29日まで  
イ 乳がん検診 9月2日から3月31日まで

## (2) 対象者

- ア 子宮頸がん検診 20歳の女性  
イ 乳がん検診 40歳の女性

## (3) 実施場所

- ア 子宮頸がん検診 市内2医療機関  
イ 乳がん検診 健康センター、市内2医療機関、市外2医療機関

## (4) 受診者数および判定結果

## ア 子宮頸がん検診

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	異常なし	再検査	要精密検査	判定不能
639	47 (100.0)	46 (97.9)	0 (0.0)	1 (2.1)	0 (0.0)

※ 合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

## イ 乳がん検診

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	異常なし	再検査	要精密検査
774	149 (100.0)	136 (91.3)	4 (2.7)	9 (6.0)

※ 合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

(歳出 4 衛生費)

24 感染症予防経費

(1) 消毒業務

感染症消毒業務は該当がなかった。

(2) 啓発

インフルエンザ等の感染防止のため、西多摩保健所と連携し、関係各課による予防対策の徹底を図るとともに、広報等により市民への周知と予防に努めた。

25 各種予防接種経費

(1) 予防接種法にもとづく定期予防接種

ア 集団接種（A類疾病）

1歳に至るまでの乳児を対象に結核（BCGワクチン）予防接種を実施した。

（単位：回、人、％）

区分	実施月	実施回数	委託先	年度対象者	接種者			年度対象者接種率
					年度対象者	その他	計	
一般分	通年	24	さくら通りクリニック	718	639	39	678	89.0
その他分		—	青梅市立総合病院	—	12	0	12	1.7
計				718	651	39	690	90.7

※ その他分は、集団接種日に接種できなかったもの

※ 接種者の「その他」は、前年度の未接種者および他市等からの依頼接種者

イ 個別接種（A類疾病）

(ア) 小児

昨年度に引き続き、子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が差し控えられた。

（単位：機関、人、％）

種別	該当者	回別	年度対象者	接種者			年度対象者接種率	
				年度対象者	その他	計		
麻しん・風しん	1期 12か月～24か月に至るまでの間にある者	1回式	647	混合ワクチン	583	89	672	90.1
				麻しん単独ワクチン	0	0	0	
				風しん単独ワクチン	0	0	0	
				計	583	89	672	
麻しん・風しん	2期 5歳～7歳未満の者で小学校入学前の1年間	1回式	899	混合ワクチン	785	0	785	87.3
				麻しん単独ワクチン	0	0	0	
				風しん単独ワクチン	0	0	0	
				計	785	0	785	
日本脳炎	1期初回	2回式	1回目	819	585	341	926	71.4
			2回目	819	502	404	906	61.3
	1期追加	1回式	1回目	575	462	451	913	80.3
	2期		9歳～13歳未満	1回式	1,908	478	563	1,041



(単位：機関、人、%)

種 別	該 当 者	回 別	年 度 対 象 者	接 種 者			年 度 対 象 者 接 種 率	
				年度対象者	その他	計		
三 種 混 合	1 期初回	3 回 式	1 回目	0	0	0	0	
			2 回目	0	0	0	0	
			3 回目	0	0	0	0	
	1 期追加	1 回式	0	0	0	0		
不 活 化 ポ リ オ	1 期初回	3 回 式	1 回目	0	0	0	0	
			2 回目	0	0	0	0	
			3 回目	0	0	0	0	
	1 期追加	1 回式	1	0	2	2	0	
四 種 混 合	1 期初回	3 回 式	1 回目	662	650	39	689	98.2
			2 回目	662	642	56	698	97.0
			3 回目	662	579	116	695	87.5
	1 期追加	1 回式	639	512	187	699	80.1	
二 種 混 合	2 期	11歳～13歳未満	1 回式	1,060	356	381	737	33.6
ヒ ブ	初回	2 回目	1 回目	663	658	37	695	99.2
			2 回目	663	622	48	670	93.8
			3 回目	663	558	100	658	84.2
	追加	1 回式	616	509	131	640	82.6	
小 児 用 肺 炎 球 菌	初回	2 回目	1 回目	663	656	42	698	98.9
			2 回目	663	634	50	684	95.6
			3 回目	663	583	109	692	87.9
	追加	1 回式	591	536	147	683	90.7	
子 宮 頸 が ん	小学6年生～高校 1年生相当年齢の 女子	3 回 式	1 回目	0	0	4	4	0
			2 回目	0	0	3	3	0
			3 回目	0	0	2	2	0
水 痘	12か月～36か月に 至るまでの間にあ る者	1 回目	647	566	117	683	87.5	
		2 回目	647	288	370	658	44.5	
B 型 肝 炎	1 歳に至るまでの 間にある者	1 回目	663	652	37	689	98.3	
		2 回目	663	627	52	679	94.6	
		3 回目	663	369	314	683	55.7	

※ 接種者の「その他」は、前年度までの未接種者および他市等からの依頼接種者

※ 接種者の「年度対象者（日本脳炎）」には、予防接種実施規則にもとづく特例対象者を含む

※ ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンについては、接種開始月年齢によって接種回数異なる

(歳出 4 衛 生 費)

(イ) 大人

風しんの追加的対策におけるMR第5期（麻しん風しん）定期接種

対象世代の抗体保有率を引き上げるため、無料クーポン券を発行し、抗体検査と予防接種（抗体価が不十分な方のみ）を実施した。

- a 期間 6月1日から令和4年3月31日まで
- b 対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性
- c 接種者数

(単位：人)

クーポン券発行者数	抗体検査受検者数	予防接種者数
17,523	1,599	320

ウ 個別接種（B類疾病）

(ア) 高齢者インフルエンザ

- a 期間 10月15日から1月31日まで
- b 対象者  
希望者のうち次に該当する者
  - (a) 接種日に満65歳以上の者
  - (b) 接種日に満60歳以上65歳未満の者で、厚生労働省令で定める程度の障害を有する者
- c 実施医療機関数173機関
- d 接種者数
  - (a) 生活保護受給者（全額公費負担） 622人（障害者1人含む）
  - (b) 生活保護受給者以外（一部公費負担） 15,611人（障害者25人含む）

(イ) 高齢者肺炎球菌

- a 期間 4月1日から3月31日まで
- b 対象者  
過去に23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンの接種歴がない青梅市に住所を有する以下の者

(a) 令和元年度中に下表に掲げる年齢に達する者

区分	対象生年月日	区分	対象生年月日
65歳	昭和29年4月2日～昭和30年4月1日	85歳	昭和9年4月2日～昭和10年4月1日
70歳	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日	90歳	昭和4年4月2日～昭和5年4月1日
75歳	昭和19年4月2日～昭和20年4月1日	95歳	大正13年4月2日～大正14年4月1日
80歳	昭和14年4月2日～昭和15年4月1日	100歳	大正8年4月2日～大正9年4月1日

(b) 接種日に満60歳以上65歳未満の者で、厚生労働省令で定める程度の障害を有する者

- c 実施医療機関数 65機関

d 接種者数

- (a) 生活保護受給者（全額公費負担） 53人（障害者0人含む）  
 (b) 生活保護受給者以外（一部公費負担） 1,314人（障害者1人含む）

(2) 任意予防接種

先天性風しん症候群の発症を予防するため、東京都委託事務である風しん抗体検査事業と併せ、風しん等予防接種助成事業を実施した。

ア 期間 4月1日から3月31日まで

イ 対象者

風しん抗体検査または妊婦健康診査等の結果、風しんに対する抗体価が十分でないことが確認できた青梅市に住所を有する19歳以上の者で、以下のいずれかに該当する者

- a 妊娠を予定または希望する女性  
 b aの同居者  
 c 妊婦の同居者

ウ 接種者数 (単位：人)

麻しん・風しん混合ワクチン接種者数	風しんワクチン接種者数	接種者数合計
114	9	123

(3) 風しん抗体検査事業

青梅市の風しん等予防接種助成事業と併せ、風しん抗体検査事業を実施した。

ア 期間 4月1日から3月31日まで

イ 対象者

19歳以上の者で、以下のいずれかに該当する者

- (ア) 妊娠を予定または希望する女性  
 (イ) (ア)の同居者  
 (ウ) 妊婦の同居者

ウ 検査結果 (単位：人)

検査方法	受検者数	要予防接種者数（抗体価不十分）	予防接種不要者数
H I 法	105	46	59
E I A 法	43	13	30
合計	148	59	89

(4) 青梅市予防接種健康被害調査委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 横山美貴	医師会の代表		播磨あかね	関係行政機関の職員	
○ 笹本光信					
成井研治			池田 央	副市長	
土井京子					

任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日 ◎は委員長、○は職務代理者  
 なお、7月4日に健康センターで委員会を開催した。

(歳出 4 衛生費)

## 26 健康センター施設整備経費

(単位：千円)

名 称	内 容	金 額	受 注 者	契 約 工 期
青梅市健康センター1階事務室空調機設備移設業務委託	休止した根ヶ布調理場にある床置き空調機1台および天井吊り空調機1台を健康センターへ移設	2,079	(株)青和施設工業所	2.4 ～3.30
青梅市健康センター1階診療室および調剤室空調機購入	健康センター1階診療室に空調機2台および健康センター1階調剤室に空調機1台を設置	756	(株)飯沼電気	5.27 ～6.24
合 計		2,835		

## 1 生活環境経費

## (1) あき地の雑草対策

公共広場等の雑草除去を管理者に依頼した。

また、私有地については調査を行い、条例にもとづいて土地の所有者に対し刈り取るよう指導を行った。そのうち農地については農業委員会へ指導を依頼した。

私有地(農地等を除く)の年間処理結果(4月1日～3月31日)

区 分	指導件数 (A)	刈取り件数 (B)	処理割合 (B/A)
件数 (件)	16	16	100 %
面積 (㎡)	4,165	4,165	100 %

## (2) 公衆便所維持管理

## ア 清掃委託

(単位：千円)

清 掃 場 所	受 注 者	金 額	契 約 期 間	備 考
青梅駅前 東青梅駅前(南口・北口) 河辺駅前(南口・北口)	(公社)青梅市シルバー 人材センター	5,430	4.1～3.31	火曜日と木曜日を除いた曜日は1日2回、火曜日と木曜日は1日1回清掃
日向和田駅前・御岳駅前 石神前駅前・軍畑駅前	(公社)青梅市シルバー 人材センター	3,122		毎日1回清掃
富岡1丁目都バス折返所	富岡光久	65		週2回清掃
成木7丁目都バス折返所	井田勝	65		週3回清掃。 ただし、6～9月は週5回、 4.29から7日間は毎日
長淵3丁目水泳場脇	下長淵連合自治会 会長 宇津木 順一	121		週2回清掃
畑中2丁目ポンプ場脇	峯岸政夫	65	4.1～10.15	週2回清掃
柚木町1丁目ポンプ場下	山下広子	35		
柚木町3丁目都バス折返所	黒沼鈴江	65		
千ヶ瀬神社前	千ヶ瀬町第1自治会 会長 高野和明	65		
富岡2丁目乙黒	富岡2丁目自治会 会長 橋本哲雄	65		
黒沢水浴場	黒沢3丁目第1自治会 会長 山崎正	65		
成木1丁目バス停前	成木1丁目自治会 会長 中村富男	65		
成木安楽寺前	金子融弘	65		
成木3丁目バス停前	成木3丁目自治会 会長 岩本正司	65		
成木8丁目都バス折返所	青木勇次	65		

(歳出 4 衛生費)

清 掃 場 所	受 注 者	金 額	契 約 期 間	備 考
成木6丁目滝成バス停前	野 寄 由美子	65	4.1~3.31	週2回清掃
成木6丁目師沢橋際	成木6丁目自治会 会長 木 崎 和 彦	65		
成木7丁目常盤橋際	成木7丁目自治会極指組 組長 加 藤 利 保	65		
成木8丁目高水山登山口	成木8丁目白岩自治会 組長 白 井 肇	65		
成木8丁目蜷沢院広場	蜷沢院 代表役員 沖 祐 昭	65		
二俣尾3丁目海禅寺前	二俣尾3丁目自治会 会長 島 田 広 之	129		
合 計		9,877		

イ 保守点検業務委託

(単位：千円)

内 容	受 注 者	点 検 場 所	金 額	契 約 期 間	備 考
駅前身障者用公衆便所 自動ドア保守点検	ナブコシステム(株) 西 東 京 支 店	東青梅駅南口 河辺駅南口 河辺駅北口	85	4.1 ~3.31	年2回
東青梅駅北口身障者用 公衆便所自動ドア保守点検	寺岡オート・ドアシス テム(株)立川営業所	東青梅駅北口	50	4.1 ~3.31	年2回

2 環境対策経費

(1) 環境基本計画の推進

環境基本計画の推進にあたっては、市民団体、事業者等で構成される青梅市環境連絡会において、市民が取り組める環境保全の事業選定を行うとともに、おうめ環境市民会議、おうめ水辺の楽校運営協議会等と全市に向けた協働事業を行った。

ア 青梅市環境審議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
氏 江 規 雄	公募による 市 民		久 保 安 宏	事 業 者	
買 手 屋 節 子			西 浦 定 継	学 識 経 験 者	
○ 高 橋 正	各 種 団 体 の 代 表		◎ 小 堀 洋 美		
小 澤 徳 郎			名 取 雄 太	関 係 行 政 機 関 の 職 員	4.1 就任
吉 野 好 男	事 業 者		巽 伸 広		

任期：平成30年11月28日～令和2年11月27日

◎は会長、○は副会長

イ 審議会開催状況

開催期日	内 容
10.4	協議事項 (仮称)今井土地区画整理事業に伴う環境影響評価調査計画について
1.30	報告事項 第2次青梅市環境基本計画と青梅ひとと生き物イキイキプランにおける平成30年度市の取組状況の調査結果について 他

(2) 環境保全活動の支援

ア 青梅市環境連絡会との連携による取組

期 日	内 容
5.1~9.30	クールビズ運動
7.26~8.1	打ち水ウィーク 全市一斉打ち水 7.30
11.1~3.31	ウォームビズ運動
通 年	エコドライブ運動

イ おうめ環境市民会議との協働による取組

期 日	内 容 ( 開催 場 所 )
6.2	環境体験学習イベント (青梅市役所)
6.2	野鳥観察会 (大塚山公園周辺)
6.2~6.28	市民環境活動展示 (青梅市役所)
6.1~6.30	環境関連図書コーナー (中央図書館)
6.15	農園見学・農作業体験 (並木農園)
6.16	基調講演「多様な森林を育む」(青梅市役所)
3.15	おうめ環境ニュースの発行

(3) 環境保全活動の啓発

ア みどりのカーテン事業

事 業 名	内 容
市民モニター事業	42世帯が参加
公共施設緑化事業	本庁舎と10の市民センターの他、15の小中学校の計26施設で実施
みどりのカーテンコンテスト	青梅ガス株式会社、西東京農業協同組合との協働事業。個人部門14世帯、団体部門16団体が参加。審査により個人部門最優秀賞3点、優秀賞3点、佳作3点、団体部門最優秀賞、優秀賞各1点、佳作2点を表彰。

イ 環境月間啓発活動

6月の環境月間の期間中、約1か月にわたり環境フェスタとして各種イベントを開催した。

ウ 青梅市ポイ捨ておよび飼い犬のふんの放置の防止ならびに路上喫煙の制限に関する条例に関する事業

期 日	内 容 ( 実 施 場 所 )
10.8～10.16	駅頭でのマナーアップキャンペーン ( J R 青梅駅・東青梅駅・河辺駅および小作駅北交差点周辺)
11.2、11.3	第52回青梅産業観光まつりでのマナーアップキャンペーン (永山公園グラウンド)
12.20	青梅線沿線5市一斉喫煙マナーアップキャンペーン ( J R 青梅駅・東青梅駅・河辺駅)

(4) 環境学習の推進

おうめ水辺の楽校運営協議会構成団体と協働で小中学生を対象とした親水事業を実施した。

実施日	事 業 名	協 働 団 体
5.12	がんばれ！あゆっ子2019	N P O 法人奥多摩川友愛会
8.3	多摩川まるごと遊び塾	青梅・多摩川水辺のフォーラム
8.10	いかだで遊ぼう in 霞川(part11)	霞川くらしの楽校
8.21	第11回炭焼き体験と水辺の交流会	美しい多摩川フォーラム
8.25	ワクワク！ドキドキ！！水辺の探検隊	青梅・多摩川水辺のフォーラム
9.28	お魚釣り	霞川くらしの楽校

(5) 地球温暖化対策実行計画

青梅市の行う事務および事業に関し、地球温暖化対策の推進に関する法律で規定する温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン）を調査した。

ア C O <sub>2</sub> 換算温室効果ガス排出量

(単位：kg-C O <sub>2</sub>)

	種 類	C O <sub>2</sub> 換算温室効果ガス排出量				合 計
		C O <sub>2</sub> (二酸化炭素)	C H <sub>4</sub> (メタン)	N <sub>2</sub> O (一酸化二窒素)	H F C (ハイドロフル オロカーボン)	
施 設	22年度 (基準年度)	8,295,636.3	1,706.7	1,186.0	—	8,298,529.0
	元年度	7,709,558.3	1,765.4	944.1	—	7,712,267.7
	増 減	△586,078.0	58.7	△241.9	—	△586,261.3
	増 減 率	△7.1%	3.4%	△20.4%	—	△7.1%
車 両 ※	22年度 (基準年度)	194,949.9	944.7	5,237.8	2,535.0	203,667.4
	元年度	150,633.4	199.9	4,431.6	3,373.5	158,638.4
	増 減	△44,316.5	△744.8	△806.2	838.5	△45,029.0
	増 減 率	△22.7%	△78.8%	△15.4%	33.1%	△22.1%
合 計	22年度 (基準年度)	8,490,586.2	2,651.4	6,423.8	2,535.0	8,502,196.4
	元年度	7,860,191.7	1,965.3	5,375.7	3,373.5	7,870,906.1
	増 減	△630,394.5	△686.1	△1,048.1	838.5	△631,290.3
	増 減 率	△7.4%	△25.9%	△16.3%	33.1%	△7.4%

※ 令和元年度に庁用自動車173台中13台を電気自動車に更新した。



## イ グリーン購入

「青梅市における環境に配慮した物品調達推進方針(グリーン購入)」を定め、国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準じて、報償物品購入費、消耗品費、印刷製本費および備品購入費を対象として実施した。

グリーン購入の実績

(単位：千円)

科 目		決 算 額	グリーン購入額	購 入 割 合
報 償 費	報償物品購入費	13,605	930	6.8%
需 用 費	消 耗 品 費	452,658	50,544	11.2%
	印 刷 製 本 費	75,966	18,644	24.5%
備品購入費	備品購入費	201,455	46,928	23.3%
合 計		743,684	117,046	15.7%

※ 一般会計、特別会計、モーターボート競走事業会計および病院事業会計を集計したもの

※ 自動車購入費33,258千円のうち、グリーン購入分適用となる電気自動車購入額は24,495千円(73.7%)であった。

### (6) 墓地等の経営の許可等の状況

申請日	申請の区分	決定日	決定の内容
9.20	墓地	10.11	区域の変更の許可(拡張)

### (7) 放射線量測定

放射性物質による市内の環境の状況把握のため、空間放射線量の定期定点測定を市内4地点で1か月に1回行った。測定の結果、青梅市放射性物質対応指針に定めた除染基準である毎時0.23マイクロシーベルトを超えた地点はなかった。

定期定点測定

(単位： $\mu\text{Sv/h}$ )

測定日	測定地点			
	第二小学校	第五小学校	成木小学校	新町小学校
4.17	0.03	0.03	0.05	0.04
5.22	0.03	0.03	0.05	0.05
6.14	0.03	0.03	0.06	0.04
7.23	0.04	0.03	0.05	0.05
8.16	0.04	0.03	0.05	0.04
9.19	0.05	0.03	0.05	0.05
10.21	0.04	0.04	0.06	0.05
11.15	0.03	0.04	0.05	0.04
12.24	0.03	0.03	0.05	0.05
1.16	0.03	0.04	0.05	0.05
2.19	0.03	0.03	0.05	0.05
3.18	0.03	0.03	0.05	0.04

### (8) 小型放射線測定器貸出

放射線測定を希望する市民への小型放射線測定器の貸出しを行った。

貸出件数 2件

(歳出 4 衛 生 費)

### 3 生物多様性地域戦略推進経費

#### (1) 青梅ひとと生き物イキイキプランの推進

市内の生物多様性の保全と持続可能な利用を推進するため、青梅ひとと生き物イキイキプランにもとづき施策を実施した。

##### ア 青梅市生物多様性保全協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
佐藤真弓	公募による市民	※	大久保芳木	市の区域内の生物多様性の保全等を行う団体に所属する者	
上坂真寿美			荒井悦子		
○横田樹広	学識経験または専門的知識を有する者		御手洗望		
草野保			◎久保田繁男		
須田真一			川道克祥		関係行政機関の職員
三好ゆき江					

任期：平成29年8月19日～令和元年8月18日（◎は委員長、○は副委員長）

令和元年8月19日～令和3年8月18日 ※平成31年2月6日～令和3年2月5日

##### イ 協議会開催状況

開催期日	内容
3.24	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため延期

#### (2) 特定外来生物等への対策推進

生物多様性の保全の推進のために業務委託による特定外来生物等の調査および捕獲・駆除を行った。

##### ア 調査

(単位：千円)

委託名称	委託内容	調査地点	捕獲数	金額	受注者	契約期間
外来生物防除業務委託(総価契約)	生息状況調査捕獲・駆除作業	6地点(10台)	アライグマ 3頭	1,486	㈱ヨシダ消毒多摩営業所	12.24～3.27

( )は捕獲器設置数

##### イ 捕獲・駆除

(単位：千円)

委託名称	委託内容	設置件数	捕獲数	金額	受注者	契約期間
外来生物防除業務委託(単価契約)	捕獲・駆除作業	4件(4台)	アライグマ 2頭	66	㈱ヨシダ消毒多摩営業所	1.17～3.31

( )は捕獲器設置数

### 4 動物愛護事業経費

飼い主のいない猫を保護し譲渡等を行う団体に対し、事業に要する費用の一部を補助した。

(単位：千円)

名称	交付先	金額
青梅市飼い主のいない猫対策事業補助金	おうめ猫の会	200

5 飼い犬登録等事務経費

畜犬登録頭数および狂犬病予防注射済票交付数 (単位：頭)

区分	市内各注射会場交付	窓口交付	合計	再交付
登録頭数	8	358	366	156
注射済票交付数	1,182	3,848	5,030	5

※ 年度末登録頭数 7,229頭

6 公害対策経費

(1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に関する事務処理状況

ア 工場

(ア) 認可 (単位：件)

設置認可	変更認可	不認可	取下げ	認定	次年度繰越
8	7	0	0	13	3

(イ) 届出 (単位：件)

氏名等変更届	承継届	廃止届	職権削除	化学物質 使用量等報告書
9	2	10	0	15
化学物質 管理方法書	土壌汚染状況 調査報告書	汚染拡散防止 計画書	汚染拡散防止 措置完了届	
5	2	0	0	

(ウ) 監察 (単位：件)

事故届	改善勧告	改善命令
0	0	0

イ 指定作業場

(ア) 届出 (単位：件)

設置届	変更届	氏名等変更届	承継届	廃止届
5	2	11	2	1
化学物質 使用量等報告書	化学物質 管理方法書	土壌汚染状況 調査報告書	汚染拡散防止 計画書	汚染拡散防止 措置完了届
9	0	2	0	0

(イ) 監察 (単位：件)

事故届	改善勧告	改善命令
0	0	0

(2) 騒音規制法に関する事務処理状況

ア 特定施設設置の届出 (単位：件)

施設の種類	金属加工機械	空気圧縮機等	印刷機械	木材加工機械	合計
件数	1	4	0	0	5

(歳出 4 衛生費)

イ 特定施設に係る変更等の届出 (単位：件)

届出の種類	防止の方法変更	氏名等変更	種類ごとの数変更	承継	廃止
件数	0	5	0	1	7

ウ 特定建設作業の届出 (単位：件)

届出の種類	くい打設	破砕	掘削	空気圧縮機	合計
件数	0	12	0	0	12

(3) 振動規制法に関する事務処理状況

ア 特定施設設置の届出 (単位：件)

施設の種類	金属加工機械	圧縮機	破砕機等	印刷機械	合計
件数	1	4	0	0	5

イ 特定施設に係る変更等の届出 (単位：件)

届出の種類	防止の方法変更	氏名等変更	種類および能力ごとの数変更	承継	廃止
件数	0	5	0	0	5

ウ 特定建設作業の届出 (単位：件)

作業の種類	くい打設	破砕	合計
件数	1	7	8

(4) 苦情の受付および対応状況 (単位：件)

現象	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計
受付件数	62	2	49	7	77	3	200
対応件数	62	2	49	7	77	3	200

(5) 事業所調査

ア ばい煙調査

大気汚染の原因とされるいおう酸化物、窒素酸化物、ばいじん等について、ボイラー（伝熱面積 5 m<sup>2</sup>以上）を使用している事業所の中から 3 事業所（3 施設）を抽出して調査した結果、すべての事業所において、規制基準に適合していた。

イ 使用燃料いおう分調査

重油を使用している事業所のうち 6 事業所（6 検体）について、使用燃料を調査した結果、すべての事業所が基準に適合した燃料を使用していた。

(単位：重量比%)

検体数	平均いおう分
6	0.06

ウ 工場等排水調査

水質汚濁発生源に対する規制指導として、19 事業所に立ち入り、排水の水質調査をした結果、すべて環境基準値以下であった。

(単位：件)

調査項目	区分	検体数	基準不適合 検体数	不適合に対する措置状況		
				改善要請	改善勧告	改善命令
生活環境 項目	201人槽以上	8	0	0	0	0
	200人槽以下	7	0	0	0	0
	畜舎	4	0	0	0	0
	小計	19	0	0	0	0
健康項目		1	0	0	0	0
合計		20	0	0	0	0

## (6) 環境調査

## ア 河川水質調査

河川の汚濁状況を把握するため、本支流21河川について水質調査を行い、本支流14河川については底質調査も行った。

(単位：pHなし、その他はmg/L)

河川名	多摩川		成木川	
地点名	御岳橋	多摩川橋	北小曾木川合流後	両郡橋
類型	AA	A	A	A
pH	7.6	7.9	7.8	8.0
BOD	0.6	0.6	0.6	0.6
SS	1.3	1.0	1.0	1.0
DO	10.5	11.0	10.1	10.9

河川名	黒沢川		霞川	
地点名	峯向橋	落合橋	城前橋	金子橋
類型	A	A	A	A
pH	7.7	8.1	7.9	8.0
BOD	0.6	0.6	0.9	0.6
SS	1.0	1.2	1.0	1.7
DO	10.7	10.7	10.1	10.3

※ 生活環境の保全に関する環境基準 pH 6.5以上8.5以下

BOD AA…1 mg/L以下 A…2 mg/L以下 B…3 mg/L以下

SS 25mg/L以下 DO AA・A…7.5mg/L以上 B…5 mg/L以上

## イ 地下水調査

3か所の井戸から年1回(10月)地下水を採水し、分析した結果、カドミウム等重金属類の有害物質は検出されなかった。

(歳出 4 衛生費)

ウ 道路交通騒音・振動調査

道路交通騒音・振動の実態を把握するため、騒音規制法・振動規制法の規定にもとづき調査を行った。

(単位：d B)

調査地点	調査期間	騒音						振動			
		調査結果		環境基準		要請限度		調査結果		要請限度	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
秋川街道 長淵8丁目	12.16 ～12.19	65	61	70	65	75	70	27	19	70	65
成木街道 根ヶ布2丁目	9.30 ～10.3	68	60	70	65	75	70	42	20	65	60
新町8丁目	10.7 ～10.10	66	62	70	65	75	70	41	33	65	60
吉野街道 畑中3丁目	11.5 ～11.8	67	61	70	65	75	70	23	17	65	60
吉野街道 柚木町2丁目	11.25 ～11.28	66	61	70	65	75	70	33	19	65	60
青梅街道 日向和田3丁目	9.24 ～9.27	63	59	70	65	75	70	29	20	65	60
青梅街道 新町1丁目	9.17 ～9.20	68	64	70	65	75	70	34	26	65	60
新町5丁目	11.18 ～11.21	61	59	70	65	75	70	28	27	70	65
友田町4丁目	12.10 ～12.13	56	56	70	65	75	70	15	15	65	60

※ 時間区分… (騒音) 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日午前6時  
(振動) 昼間：午前8時～午後7時 夜間：午後7時～翌日午前8時  
用途地域が近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域の場合は、  
昼間：午前8時～午後8時 夜間：午後8時～翌日午前8時

※ 環境基準… 生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで、維持されることが望ましい基準（環境基本法第16条）

なお、実施した騒音調査については、すべての調査地点が幹線交通を担う道路に近接する空間に該当するため、特例の基準値を適用する。

※ 要請限度… 指定地域内において、道路交通法上の規定による措置を要請することができる基準（騒音規制法第17条）

指定地域内において、道路交通振動防止のための舗装、維持または修繕の措置を執るべきことを要請し、または道路交通法の規定による措置を要請することができる基準（振動規制法第16条）

なお、実施した騒音調査については、すべての調査地点が幹線交通を担う道路に近接する区域に該当するため、特例の基準値を適用する。

エ 自動車騒音常時監視

騒音規制法の規定にもとづき、市内10路線10区間で調査を実施し、沿道地域における環境基準の達成状況を評価した。

路線名	評価区間			達成率(%)	
	始点	終点	延長(km)	昼間	夜間
一般国道411号	奥多摩青梅線	青梅市・奥多摩町境	3.9	96.9	98.4
立川青梅線	羽村市・青梅市境	立川青梅線	0.2	100	100
青梅あきる野線	青梅飯能線	新宿青梅線	0.4	99.3	100
瑞穂富岡線	青梅入間線	瑞穂富岡線	3.1	99.6	99.6
奥多摩青梅線	十里木御嶽停車場線	柚木二俣尾線	4.4	100	100
下畑軍畑線	下畑軍畑線	青梅秩父線	3.7	100	100
成木河辺線	塩船45付近交差点	青梅入間線	0.9	100	100
青梅停車場線	青梅駅前交差点	青梅飯能線	0.1	100	100
原市場下成木線	原市場下成木線	下畑軍畑線	0.3	100	100
大久保青梅線	奥多摩青梅線	一般国道411号	0.7	97.4	94.9

※ 時間区分… 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日午前6時

オ 交差点等大気汚染調査

大気汚染の原因の一つとされる二酸化窒素について、主要交差点等12か所において年2回調査を行った。

(単位：ppm)

調査交差点名 または調査地点	二酸化窒素	
	夏期(6.25~26)	冬期(12.18~19)
青梅新町	0.023	0.017
友田	0.016	0.018
長瀬七丁目	0.015	0.017
青梅市民会館南	0.013	0.010
御岳橋	0.007	0.007
成木五丁目	0.009	0.006
青梅四小前	0.015	0.015
梅郷四丁目	0.011	0.007
今寺	0.018	0.011
友田町4丁目	0.010	0.008
七日市場	0.019	0.015
新岩蔵大橋	0.014	0.012
平均	0.014	0.012

※ 環境基準… 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、または、それ以下。

(歳出4衛生費)

カ 酸性雨調査

森林や湖沼、文化財等への影響から問題になっている雨水の酸性度について把握するため、市役所屋上にて毎月調査を行った。

採取月 分析項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
水素イオン濃度 ( pH )	5.5	5.7	5.6	4.7	5.4	4.9	5.1	5.1	5.3	5.2	5.8	5.8	5.3

※ 一般に pHが5.6以下の雨を酸性雨という。

キ 大気中ダイオキシン類調査

市内4か所において、ダイオキシン類の調査を行った。

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調査地点	調査期間 夏期 (8.21~8.28)	冬期 (2.14~2.21)
青梅市役所屋上	0.010	0.014
新町小学校屋上	0.012	0.018
長淵市民センター駐車場	0.0090	—
上長淵自治会館	0.011	—

※ ダイオキシン類にはコプラナーPCBを含む。

※ 単位：pg (ピコグラム) は、1兆分の1g。

※ 環境基準… 0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup> 以下。

※ 長淵市民センター駐車場および上長淵自治会館については、夏季のみの調査。

ク 大気中アスベスト調査

市内3か所において、年1回(3月)アスベストの調査(総繊維数濃度調査)を行った。

(単位：本/L)

調査地点	調査日
青梅市役所	3.3
新町市民センター	0.056
梅郷市民センター	0.056未満
梅郷市民センター	0.056

※ 大気汚染防止法において定められた基準値10本/L。

※ WHO (世界保健機関) の評価基準によると、「世界の都市部の一般環境中の石綿繊維数濃度は1本~10本/L程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出できないほど低い」とされている。



ケ 微小粒子状物質調査

市内1か所において、微小粒子状物質の調査を行った。

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

調査期間	8.29~8.30
調査地点	梅郷市民センター
	18

※ 単位： $\mu\text{g}$ （マイクログラム）は、100万分の1g。

※ 環境基準… 1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下。

コ 藻類・底生生物調査および定性分析

アユの餌となる付着藻類の現状把握のため、年3回、市内の多摩川の3か所において市民団体の協力を得て調査を実施した。市民球技場については、併せて年1回、底生生物の調査および川石の付着物の定性分析を実施した。

底生生物を調査した結果、54種類の底生生物が確認され、特に近年はクチビルケイソウが優占種となっている。また定性分析の結果、主な成分として、二酸化ケイ素（石英）が確認された。

なお、経年変化の確認のため、過去の分析資料から底生生物、付着藻類について出現種を分類学的に集計し生物学的水質判定を行ったところ、数値の年間変動に規則性は見られず、水質は継続してきれいな水域であるとの結果であった。

(ア) 藻類出現種

調査日	4.26	8.20	2.21
調査地点			
市民球技場	23種類	36種類	37種類
和田橋	24種類	37種類	34種類
楓橋	31種類	35種類	43種類

(イ) 灰分率

(単位：%)

調査日	4.26	8.20	2.21
調査地点			
市民球技場	60.0	60.5	78.0
和田橋	67.9	72.1	84.6
楓橋	63.6	71.9	57.5

※ 灰分率とは、採取試料に占める無機物の割合。

(7) 採石公害対策

採石事業に伴って発生する公害を未然に防止するため、ダンプトラック交通量および粉じん調査を行うとともに、青梅市採石等公害防止対策連絡協議会を開催し、各事業所の公害防止のため連絡調整をした。また、粉じん防止のため、機械の保守点検・洗車施設の有効使用について各事業所への巡回指導を行った。

(歳出 4 衛生費)

ア 主要交差点のダンプトラック交通量調査

(単位：台)

調査交差点名	調査日		調査交差点名	調査日	
	12.17	3.11		12.17	3.11
成木五丁目	490	820	長淵七丁目	776	935
成木八丁目	1,090	1,522	佐藤塚	191	206
黒沢二丁目	1,060	1,248	軍畑駅入口	1,055	477
青梅四小前	681	815			
新岩蔵大橋	517	703			
梅ヶ谷峠入口	929	869	合計	6,789	7,595
			平均台数	754	844
梅ヶ谷峠入口交差点タンクローリー車台数				24	23

イ 採石場周辺の大気中粉じん調査

(単位：mg/m<sup>3</sup>)

調査地点	調査期間	測定値	調査地点	調査期間	測定値
成木8-368付近	10.28~10.29	0.019	成木5-1102付近	10.30~10.31	0.022
成木8-420付近	11.6~11.7	0.014	成木7-622付近	11.5~11.6	0.018
成木8-853-2付近	11.7~11.8	0.022	駒木町2-435付近	10.31~11.1	0.019
成木5-1400付近	10.23~10.24	0.024	平均		0.020

※ 環境基準… 1時間値の1日平均値が0.1mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ1時間値が0.2mg/m<sup>3</sup>以下。

(8) 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会

ア 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考	
高橋正	関係地区 住民代表	5.29退任	佐藤志信	関係行政機関 の職員	4.1 就任	
見目幸司		5.30就任	齋藤俊之		4.1 就任	
山崎茂			桑嶋康雄			
井上敏明		4.11退任	遠藤光男	採石事業者 代表	4.18 退任	
井上良平		4.12就任	野崎達一郎		4.19 就任	
宮口泉		4.15退任	澤本哲俊			
伊藤明男		4.16就任	大村昌一			
◎高橋誠						
青木初雄		5.10退任				
○青木修		5.11就任				

任期：平成30年9月11日～令和2年9月10日

◎は会長、○は職務代理者

イ 協議会開催状況

開催日	内 容
4.16	青梅市採石等公害防止対策連絡協議会における採石場等巡視に伴う指摘事項および意見について 採石場等製品搬出・残土搬入台数調書について 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会の名称変更について 市役所六万通りおよび城山通りに関する要望について 採石事業場の認可更新について
11.1	採石場等製品搬出・残土搬入台数調書について 令和元年度採石場巡視について 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会の名称変更について 採石事業場の認可更新について
2.17	採石場等の巡視（1か所） ダンプトラックシート掛け調査の実施結果について 砕石運搬車両の夜間および早朝パトロールの実施結果について 採石場共同パトロールの実施結果について 採石場等製品搬出・残土搬入台数調書について 青梅市砕石等公害防止対策連絡協議会の名称変更について

(9) 光化学スモッグ（オキシダント）

令和元年度は、本市を含む多摩西部地域において、光化学スモッグ注意報の発令日数は以下のとおりであった。なお、警報および重大緊急報の発令はなかった。

（単位：日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
注意報発令日数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

7 墓地公園管理経費

(1) 墓地公園使用状況

（単位：区画）

種 別	区 画 数			使 用 状 況					
	30年度末	本年度異動数	合計	30年度末	元年度使用許可数	元年度返還数	総使用数	残 数	
規格墓地	4.5㎡	742	0	742	722	18	6	734	8
	3.75㎡	360	0	360	355	5	2	358	2
自由墓地		408	0	408	401	0	2	399	9

（単位：体）

種 別	収 容 可 能 体 数			使 用 状 況					
	30年度末	本年度異動数	合計	30年度末	元年度使用許可数	総使用許可数	元年度収容数	総 収 容 数	残 数
樹林墓地 (1区画)	—	1,020	1,020	—	109	109	21	21	911

※ 樹林墓地は令和元年9月に完成し、令和2年1月から供用開始

## (2) 墓地公園管理清掃業務委託

(単位：千円)

種 別	内 容 ・ 面 積	金 額	受 注 者	契 約 期 間
規 格 墓 地	芝 刈 約4,494㎡×6回	7,944	(公社)青梅市シル バー人材センター	4.1~3.31
	草 刈 約5,000㎡×6回			
	芝 張 約 185㎡×1回			
	芝 清 掃 約4,494㎡×1回			
自 由 墓 地	手 抜 除 草 約1,838㎡×6回			
	草 刈 約3,568㎡×6回			
墓 地 公 園 内 全 体	低木刈込 約1,538㎡×2回			
	中木刈込 約 89㎡×2回			
	梅せん定 年1回			
	はき掃除 約7,250㎡×12回			
そ の 他	ごみ処理 週1回 (供具、供花、供物および紙くず等の除去)			
	便所清掃 月2回(2棟)			
	芝切り(規格墓地使用者が納骨する際、事前に納骨できる状態にする)			
	緩衝山林の草刈り			
	除雪			
	軽微な修繕等			
	受水槽等の清掃	54	株友伸産業	8.7~9.30

## (3) 墓地公園樹木伐採および折れ枝剪定業務委託

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契 約 期 間
枯死木伐採	297	(株)森林文化研究所	4.25~9.30
枯死および危険木伐採剪定	297		6.12~7.31

## (4) 樹林墓地焼骨埋蔵等業務委託

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契 約 期 間	実 施 回 数
樹林墓地への焼骨の埋蔵	22	(公社)青梅市シル バー人材センター	1.14 ~3.31	3回

## (5) 樹林墓地納骨式業務委託

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契 約 期 間	実 施 回 数
樹林墓地への焼骨の埋蔵時に催す納骨式の実施	33	(株)梅文社	1.7 ~3.31	3回

8 墓地公園整備経費

墓地公園樹林墓地等整備工事

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契 約 工 期
墓地公園樹林墓地等整備	21,038	宮崎土建	4.23～9.5

○ 葬 祭 費 ( 1 2 9 , 3 4 1 , 4 5 6 円)

[市民課]

斎場火葬場管理経費

1 火葬場

(1) 火葬場運営状況

青梅市火葬場については、指定管理者制度を導入しており、平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、富士建物管理・富士建設工業共同体が運営を行った。

(2) 火葬場使用状況

(単位：件、%)

区 分	青 梅 市	奥多摩町	あきる野市	日の出町	そ の 他	合 計
件 数	1,503	3	5	1	139	1,651
構 成 比	91.0	0.2	0.3	0.1	8.4	100.0
摘 要	開場日数 304日 休場日数 62日 (友引日59日、1月1日～3日) 1日平均5.4件					

(3) 動物炉使用状況

(単位：件)

区 分	犬	猫	そ の 他	合 計
件 数	139	371	842	1,352

(4) 主な修繕

修繕名称	修繕内容	金 額	実 施 者	契 約 期 間
火葬炉等修繕	火葬炉耐火材修繕(1～4号炉、動物炉)、耐火台車上部交換ほか	10,368千円	富士建設工業(株)	6.3 ～9.24

(歳出 4 衛 生 費)

## 2 斎場

### (1) 斎場運営状況

青梅市民斎場については、指定管理者制度を導入しており、平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、富士建物管理・富士建設工業共同体が運営を行った。

### (2) 式場使用状況

(単位：回、%)

区 分	通 夜	告 別 式	合 計	構 成 比
式 場	419	496	915	100.0
第 1 式 場	205	228	433	47.3
第 2 式 場	213	267	480	52.5
第 3 式 場	1	1	2	0.2
祭 壇	419	496	915	100.0
仏 式	320	373	693	75.7
神 式	46	49	95	10.4
キリスト教式	1	3	4	0.4
そ の 他	52	71	123	13.5
摘 要	開 場 日 数 363日 休 場 日 数 3日 (1月1日～3日) 使用許可人数 496人			

### (3) 会席室等使用状況

(単位：時間)

区 分	会席室(1)	会席室(2)	会席室(3)	会席室(5)	霊安室	湯かん室
使用延べ時間	1,142	625	721	182	19,694	135

○ 病 院 事 業 費 ( 7 7 1 , 4 1 4 , 3 5 5 円)

[財政課]

### 病院事業経費

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
病院事業会計負担金	695,236	基準額 695.236
病院事業会計出資金	64,284	
病院事業会計繰出金	11,894	
合 計	771,414	

清 掃 費

2, 9 5 1, 2 9 3, 3 6 3 円

○ 廃棄物対策費 (2, 9 5 1, 2 9 3, 3 6 3 円) [清掃リサイクル課]

1 廃棄物減量等推進審議会経費

(1) 廃棄物減量等推進審議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考
小 花 紀 彦	青梅市自治会連合会代表	
◎ 泊 正 人	青梅市環境美化委員連合会代表	
鎌 田 博 志	教育関係者代表	11. 30退任
仁 藤 茂 則	〃	12. 1就任
新 海 博 志	市民公募委員	11. 30退任
坂 齋 修	〃	12. 1就任
奥 松 千 恵 子	〃	12. 1就任
野 寄 弘	事業者代表	11. 30退任
清 水 大	〃	12. 1就任
小 山 孝	〃	
藤 本 潤	消費者団体代表	11. 30退任
吉 川 博 司	〃	12. 1就任
○ 鈴 木 隆	資源回収事業者代表	
小 村 建 一	市清掃受託会社代表	

任期：令和元年12月1日～令和3年11月30日 ◎は会長、○は副会長

(2) 審議会開催状況

開 催 日	内 容
2. 13	報告事項 (1) 平成30年度ごみ収集状況等について (2) 平成30年度集団回収の状況について (3) 多摩川1万人の清掃大会について (4) 台風19号による災害廃棄物の処理について (5) 令和元年度の新たな取り組みについて (6) 青梅市リサイクルセンターの改修について

2 美化環境推進経費

(1) 美化デーの実施

毎月第2日曜日を美化デーと定め、市内一斉に清掃を実施するよう努めた。

(2) 市内の環境美化と不法投棄防止対策

美化活動の一環として、不法投棄の比較的多い場所にごみ捨て禁止の立看板を設置した。

(歳出 4 衛 生 費)

## (3) ごみ収集等委託

(単位：千円)

委託名称	場 所	受注者	金額	期 間
環境美化推進重点 地区清掃業務委託	青梅駅、東青梅駅（南口、北口）、 河辺駅（南口、北口）、小作駅	(公社)青梅市 シルバー人材 センター	1,206	4.1 ～3.31
美化デーごみ等収集 運搬業務委託	市内全域	(株)大島商事	2,191	
多摩川河川敷清掃 業務および多摩川 河川ごみ収集運搬 業務委託	河川敷清掃業務（10か所） 柚木町1丁目先河原（山崎河原） から河辺市民球技場周辺 河川ごみ収集運搬業務（6か所） 御岳苑地トイレ横から市民球技 場管理棟横	青梅新興(株)	1,404	4.1 ～3.31
休日動物死体および 平日大型動物死体 収集運搬業務委託	市内全域	(株)大島商事	2,212	4.1 ～3.31
多摩川一万人の 清掃大会ごみ 収集運搬業務委託	多摩川流域		205	7.5 ～8.13
合 計			7,218	

## (4) 不法投棄廃棄物収集実績

(単位：品)

収 集 数	収 集 量	情 報 提 供 件 数
家 電 60	12,500kg	市 民 183
家 具 38		警 察 6
そ の 他 525		職 員 32
計 623		そ の 他 12
		計 233

## (5) 不法投棄廃棄物等処理実績

(単位：千円)

区 分	品 目	処理量	受注者	金 額
家電リサイクル法	テレビ	14台	青梅新興(株)	141
	エアコン	1台		
	冷蔵庫・冷凍庫	12台		
	洗濯機・衣類乾燥機	6台		
その他処分	タイヤ	48本	NKリサイクル(株)	10
	混合廃棄物	1m <sup>3</sup>	(有)ケイハツ	18
収 集 ・ 運 搬		8回	青梅新興(株)	1,153
合 計				1,322

※ 4家電については、一般財団法人家電製品協会の不法投棄未然防止事業を実施。

## (6) 青梅市環境美化委員連合会補助金

団 体	補 助 金	目 的	備 考
青梅市環境美化 委員連合会	4,100千円	青梅市のごみ減量および 環境美化向上のため	環境美化委員 694人



(7) 環境美化各地区委員会

市内各地区において、環境美化委員会を開催し、ごみ減量の推進、美化活動の推進等環境美化全般にわたる説明および打合せを行った。

(8) 環境美化大会の開催

ア 期 日 5月26日（日）

イ 会 場 青梅市役所2階会議室

ウ 参加者 環境美化指導員等 114人

エ 内 容 環境美化指導員永年功労者、環境衛生・美化優良団体、環境衛生・美化善行者等の表彰を行った。また、株式会社エフピコより講師を招き「エフピコ方式のリサイクル ～トレーto トレー、ボトル to トレー～」と題した講演会を開催した。

(9) 多摩川1万人の清掃大会

実施日	実施場所	参加人数	収集量
8.4	御岳溪谷から多摩川橋上下流右岸 (18か所)	2,152人	870kg

3 ごみ減量対策経費

(1) 市民への周知および啓発

ア 青梅市ごみ収集カレンダーの配布

5か国語（英語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語）の表記がある青梅市ごみ収集カレンダーを青梅市環境美化委員連合会が中心となり3月に全戸配布を行った。

また、ボランティア団体などにより作成した点字版および音声版（デイジー方式）の青梅市ごみ収集カレンダーを、希望者に配付した。

イ エコバッグの配布

実施日	会 場	内 容
3.5、3.6、3.9、 3.11～3.13	市内スーパー5店舗 および河辺駅北口	令和2年7月からのレジ袋有料化に向けて、ごみ関連のアンケートに回答した市民にエコバッグを配布した。

ウ ごみ情報紙の発行

ごみ減量・資源リサイクルの自主的な取組と意識啓発を促進するため、ごみ情報紙「ごみ減量・リサイクル通信」を3月24日に発行した。

エ 出前講座等

ごみの減量と資源のリサイクル促進に向けた適正な分別排出などについて、各種団体等の要請にもとづく講座の開催、小学校等の施設見学や中学校の体験学習の受入れによる啓発活動を行った。

(ア) ごみ減量講演会

2月23日に予定していた講演会「容器包装プラスチックのリサイクル」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(イ) ごみ処理施設見学会

(単位：人)

実施日	見学場所	対象	参加者数
10.16	・青梅市リサイクルセンター ・(株)エフピコ 関東リサイクル工場	一般	19

なお、2月28日に予定していた「ごみ処理施設見学とつるつる温泉めぐり」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(ウ) その他

(単位：人)

区分	件数	参加者数
ごみ減量講座	2	111
小中学校施設見学	8	626
中学校体験学習	4	13

オ ごみ減量啓発運動の開催

実施日	会場	内容
11.2、11.3	青梅産業観光まつり	ごみ減量推進の啓発および食品ロスを減らす取り組みの実践を、広く市民に呼びかけを行った。

(2) 小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進作品コンクール

市内の小学4年生から6年生を対象に、ごみ減量と資源のリサイクルを推進し、ごみ問題の重要性を訴え、理解していただけるよう啓発することを目的に実施した。

なお、入賞作品は市役所1階ロビーでの掲示、広報紙およびホームページでの公表を行った。また、ごみ収集カレンダーに金賞作品を掲載した。

ア 表彰式 10月27日 市役所2階会議室

イ 応募状況

(単位：人)

区分	ポスター部門				キャッチフレーズ部門			
	4年生	5年生	6年生	合計	4年生	5年生	6年生	合計
応募	8	6	8	22	3	11	7	21
入賞	金賞	1	1	1	3	最優秀賞 1		1
	銀賞	1	1	1	3	優秀賞 2		2
	銅賞	1	1	1	3			

(3) 青梅市リサイクル推進協力店の登録状況（3月31日現在） 23店舗

(4) 資源回収事業

ごみ減量、資源の有効活用を積極的に推進すべく、資源有価物の分別と資源回収を各種団体の協力を得て実施した。

ア 資源再利用実施団体奨励報償金対象品目回収量 (単位：kg、円/kg)

品 目	新 聞	雑 誌・雑 紙	紙 パ ッ ク	ダ ン ボ ー ル	織 維 類
回 収 量	1,224,577.0	902,431.0	16,591.0	640,940.0	167,020.0
基 準 額	9	13	13	11	11
く ず 鉄 類	ア ル ミ	1.8Lびん	ビールびん(大びん)	その他のびん	合 計
54,795.0	67,269.0	26,893.0	9,519.0	252,091.0	3,362,126.0
8	20	16	16	15	

イ 資源再利用実施団体奨励報償金および特別報償金地区別交付状況

(単位：千円)

地 区	奨 励 報 償 金			特 別 報 償 金		
	団 体 数	回 数	金 額	団 体 数	回 数	金 額
青 梅	15	180	5,253	15	176	629
長 淵	14	244	6,136	12	212	690
大 門	21	241	4,777	17	238	587
梅 郷	10	78	2,536	3	33	53
沢 井	12	50	1,134	2	27	51
小 曾 木	1	74	1,197	1	10	130
成 木	2	14	315	0	0	0
東 青 梅	24	251	5,256	19	223	630
新 町	20	212	4,252	16	192	507
河 辺	19	232	4,564	18	227	522
藤 橋・今 井	6	71	2,584	6	71	329
合 計	144	1,647	38,004	109	1,409	4,128

ウ 資源回収事業協力助成金対象品目回収量

(単位：kg、円/kg)

品 目	新 聞	雑 誌・雑 紙	紙 パ ッ ク	ダ ン ボ ー ル	織 維 類
回 収 量			16,564.0		166,040.0
単 価			1		5
く ず 鉄 類	ア ル ミ	1.8Lびん	ビールびん(大びん)	その他のびん	合 計
54,805.0		26,450.0	8,836.0	252,136.0	524,831.0
5		4	4	16	

エ 資源回収事業協力助成金交付状況

業 者 数	回 数	金 額
15	1,689	5,296千円

(歳出 4 衛 生 費)

#### 4 ごみ収集経費

##### (1) 収集制度

区 分		収 集 方 法 等
燃 や す ご み		週2回収集（月・木曜日、火・金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
燃 や さ な い ご み		月1回第1週収集（月～金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み		第1週を除く各週収集（月～金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
有害ごみ	蛍 光 管	週1回燃やさないごみおよび容器包装プラスチックごみ収集日に併せて戸別無料収集（一部ステーション収集） およびリサイクルセンターへ持込み
	乾 電 池	
	ライタースプレー缶等	
粗 大 ご み		申込制による随時戸別有料収集または個人有料持込み
資源ごみ	新 聞 紙	月1回第1水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	雑 誌 ・ 雑 紙	月1回第2水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	ダンボール・紙パック	月1回第3水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	繊維類（かばん、靴、ベルト、ぬいぐるみ）	月1回第4水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	カ ン	第1、第3、第5週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）
	ビ ン	第2、第4週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）
	ペ ッ ト ボ ト ル	週1回収集（月～金曜日、一部ステーション収集）
	ガ ラ ス	第1、第3、第5週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）およびリサイクルセンターへ持込み
	陶 磁 器	第2、第4週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）およびリサイクルセンターへ持込み
	廃 食 用 油	リサイクルセンターへ持込み
	小 型 家 電	公共施設での拠点無料収集、リサイクルセンターへ持込み

##### (2) 燃やすごみ、資源ごみ収集

###### ア 委託状況

（単位：千円）

受 注 者	金 額	期 間	稼 働 台 数	備 考
青 梅 新 興 (株)	375,340	4.1～3.31	19台	燃やすごみ 週4日間 新聞、雑誌・雑紙、ダンボール・紙パック、繊維類の資源ごみ 各1日間
ス イ ハ ン 企 業 (株)	68,474		5台	
(株) 大 島 商 事	69,164		4台	
合 計	512,978			

イ 燃やすごみ収集状況

(単位：kg)

区分	受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
戸別分	青梅新興(株)	208	11,925	14,070,610
	スイハン企業(株)	208	2,733	4,006,020
	(株)大島商事	208	2,219	3,199,400
	計		16,877	21,276,030
御岳山	青梅新興(株)	52	※	21,690
合計			16,877	21,297,720

※ 御岳山の輸送回数は、戸別分の青梅新興(株)に含まれる。

ウ 資源ごみ（新聞紙、雑誌・雑紙、ダンボール・紙パック、繊維類）収集状況

(単位：kg)

区分	受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
新聞紙 第1水曜日 収集	青梅新興(株)	12	547	458,500
	スイハン企業(株)		106	111,440
	(株)大島商事		112	115,890
	青梅新興(株)(御岳山)		12	1,850
	計		777	687,680
雑誌・雑紙 第2水曜日 収集	青梅新興(株)	12	697	879,710
	スイハン企業(株)		169	234,540
	(株)大島商事		146	203,880
	青梅新興(株)(御岳山)		12	3,970
	計		1,024	1,322,100
ダンボール ・紙パック 第3水曜日 収集	青梅新興(株)	12	681	419,530
	スイハン企業(株)		164	113,780
	(株)大島商事		147	100,430
	青梅新興(株)(御岳山)		12	7,560
	計		1,004	641,300
繊維類 第4水曜日 収集	青梅新興(株)	12	573	436,440
	スイハン企業(株)		131	126,050
	(株)大島商事		114	101,600
	青梅新興(株)(御岳山)		12	1,540
	計		830	665,630

(3) 燃やさないごみ、容器包装プラスチックごみ収集

ア 委託状況

(単位：千円)

受注者	金額	期間	稼働台数	備考
青梅新興(株)	98,806	4.1~3.31	週5日5台	燃やさないごみ 月1回収集 容器包装 プラスチックごみ 第1週を除く 週1回収集
スイハン企業(株)	100,716		週5日6台	
合計	199,522			

(歳出 4 衛生費)

イ 収集状況

(単位：kg)

区分	受注者	燃やさないごみ			容器包装プラスチックごみ			合計		
		稼働日数	輸送回数	収集量	稼働日数	輸送回数	収集量	稼働日数	輸送回数	収集量
戸別分	青梅新興(株)	60	795	422,450	197	2,163	686,170	257	2,958	1,108,620
	スイハン企業(株)		631	574,130		1,643	919,470		2,274	1,493,600
	計	/	1,426	996,580	/	3,806	1,605,640	/	5,232	2,602,220
御岳山	青梅新興(株)	12	12	1,650	39	39	2,510	51	51	4,160
合計		/	1,438	998,230	/	3,845	1,608,150	/	5,283	2,606,380

※ 有害ごみ（乾電池および蛍光灯等）を含む

(4) 粗大ごみ収集

ア 委託状況

(単位：千円)

委託名称	場所	受注者	金額	期間
粗大ごみ収集運搬業務委託および粗大ごみ運び出し業務委託	市内全域 (御岳山除く)	(株)大島商事	32,438	4.1 ～3.31
粗大ごみ運び出しサービス業務委託	市内全域 (御岳山除く)	(公社)青梅市 シルバー人材センター	215	4.1 ～3.31

イ 収集状況

(単位：kg)

区分	稼働日数	取扱件数	品数	取扱量
収集	257	8,878	30,722	343,190
個人持込	292	67,482	200,770	1,558,770
御岳山	23	/	45	240
合計	/	/	231,537	1,902,200

※ せん定枝を含む

(5) 資源ごみ（ビン・カン・ペットボトル・ガラス・陶磁器）収集

ア 委託状況

(単位：千円)

受注者	金額	期間	稼働台数	備考
奥住運輸(有)	68,513	4.1～3.31	週5日6台	ペットボトル 週1回 カン・ガラス 第1・3・5週 ビン・陶磁器 第2・4週
(有)サンクリーン永昌	59,763		週5日5台	
(有)青梅クリーンリサイクル	49,416		週5日4台	
共同企業(株)	11,837		週5日1台	
合計	189,529	/	/	/

## イ 資源ごみ（カン）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	137	1,168	112,240
(有)サンクリーン永昌		822	87,870
(有)青梅クリーンリサイクル		1,204	85,740
共同企業(株)		237	23,110
青梅新興(株)（御岳山分）	27	28	1,250
合計		3,459	310,210

## ウ 資源ごみ（ビン）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	120	963	259,590
(有)サンクリーン永昌		662	203,000
(有)青梅クリーンリサイクル		837	176,820
共同企業(株)		173	43,210
青梅新興(株)（御岳山分）	24	24	3,560
合計		2,659	686,180

## エ 資源ごみ（ペットボトル）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	257	2,209	164,280
(有)サンクリーン永昌		1,645	122,720
(有)青梅クリーンリサイクル		1,873	116,030
共同企業(株)		385	29,550
青梅新興(株)（御岳山分）	51	51	890
合計		6,163	433,470

## オ 資源ごみ（ガラス）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	137	879	19,320
(有)サンクリーン永昌		693	17,520
(有)青梅クリーンリサイクル		559	11,700
共同企業(株)		160	3,440
青梅新興(株)（御岳山分）	27	26	180
合計		2,317	52,160

## カ 資源ごみ（陶磁器）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	120	815	62,150
(有)サンクリーン永昌		639	57,530
(有)青梅クリーンリサイクル		777	37,360
共同企業(株)		161	9,580
青梅新興(株)（御岳山分）	24	24	420
合計		2,416	167,040

(歳出 4 衛生費)

## (6) 御岳山収集委託状況

区 分	受 注 者	金 額	期 間	稼働台数	備 考
御岳山収集	青梅新興(株)	4,194千円	4.1~3.31	週1日4台	毎週金曜日

※ 収集状況については種類ごとの表に記載

## (7) 終末処分状況

(単位：kg)

区 分	西多摩衛生組合環境センター			リサイクル センター等	計
	収 集	一般持込	計		
年 間	23,182,530	5,967,710	29,150,240	7,800,020	36,950,260
月 平 均	1,931,878	497,309	2,429,187	650,001	3,079,188

## (8) 指定収集袋関係

ア 製作配送等委託 (受注者：ジェイフィルム(株))

(単位：円、枚)

区 分	期 間	燃 や す ご み		燃 や さ ない ご み		容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み		
		単 価	数 量	単 価	数 量	単 価	数 量	
家 庭 系	4.1~3.31	大 袋	11.60	1,472,930	11.60	115,090	11.60	533,540
		中 袋	7.12	2,793,570	7.12	152,080	7.12	1,235,960
		小 袋	5.62	1,319,530	5.62	66,280	5.62	331,290
		特小袋	4.08	345,980	4.08	23,320		
事 業 系	4.1~3.31	一 般 大 袋	12.20	105,430	22.00	6,130	16.00	17,360
		一 般 小 袋	16.00	14,230	80.00	900	70.00	300
		福 祉 大 袋	12.70	197,890	50.00	4,220	25.00	13,600
		福 祉 小 袋	8.80	70,810	150.00	0	70.00	7,640
ボランティア袋			12.00	28,500	100.00	1,500		
数 量 計				6,348,870		369,520		2,139,690
金 額		78,757千円						



## イ 取扱事務委託

(単位：円、組)

取扱店名	区 分							期 間	
	種 類	燃 や す ご み		燃 や さ ない ご み		容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み			
		金 額	交 付 組 数	金 額	交 付 組 数	金 額	交 付 組 数		
三昭堂薬店 以下161店舗	家 庭 系	大 袋	600	151,570	480	14,154	300	55,002	4.1 ~3.31
		中 袋	300	283,965	240	15,108	150	120,679	
		小 袋	150	133,580	120	6,505	70	31,357	
		特小袋	70	34,037	60	2,961			
	事 業 系	大 袋	1,610	8,723	1,610	618	1,610	1,618	
		小 袋	805	1,417	805	305	805	95	
	数 量 計		613,292		39,651		208,751		
	金 額		31,785千円						
	委 託 料		取扱金額×11%						

※ 消費税課税届出取扱店については消費税率分を上乗せし執行

※ 1組当たり10枚

## 5 清掃指導経費

(1) 一般廃棄物管理票制度（マニフェスト）の実施状況

(単位：kg)

区 分	搬 入 先	マニフェスト実施事業所数	搬 入 量
燃 や す ご み	西多摩衛生組合環境センター	574	5,967,710
燃 や さ ない ご み	青梅市リサイクルセンター	36	23,960
せ ん 定 枝		13	116,190

(2) 一般廃棄物収集・運搬業、処分業および浄化槽清掃業の許可状況

許可区分	一 般 廃 棄 物 収 集 ・ 運 搬 業	一 般 廃 棄 物 処 分 業	浄 化 槽 清 掃 業	合 計
件 数	48	2	1	51

(3) 事業系持込みごみ調査

西多摩衛生組合において、一般廃棄物収集運搬業者が搬入するごみの中身を調査し、不適正物を搬入した業者、排出した事業所に対し指導を実施した。

## 6 資源物処理等経費

(1) 資源物持ち去り防止パトロール

毎月第1水曜日の「古新聞回収日」に資源物の持ち去り防止を目的に、パトロールおよびGPS機器を使い、調査を実施した。(直営1～2班)

(歳出 4 衛 生 費)

## (2) 資源物処理

## ア 搬入内訳

(単位：t)

区 分	年間量	月平均	搬入先	台数
燃 や さ な い ご み	1,058.30	88.19	青梅市リサイクルセンター	23,025
容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み	1,608.15	134.01		
粗 大 ご み	1,525.51	127.13		
ビ ン	686.18	57.18		
ペ ッ ト ボ ト ル	433.47	36.12		
小 型 家 電 ( 回 収 ボ ッ ク ス 分 )	4.07	0.34		
廃 食 用 油	2.44	0.20		
陶 磁 器	182.27	15.19		
ガ ラ ス	56.80	4.73		
せ ん 定 枝	492.88	41.08		
合 計	6,050.07	504.17		
新 聞	687.68	57.31	青梅資源リサイクル事業協同組合	7,145
雑 誌 ・ 雑 紙	1,325.04	110.42		
ダ ン ボ ー ル ・ 紙 パ ッ ク	641.88	53.49		
織 維 類	669.95	55.83		
カ ン	310.21	25.85		
合 計	3,634.76	302.90		
総 合 計	9,684.83	807.07	合 計	30,170

## イ 処理

## (ア) 破碎処理施設・せん定枝等処理施設運転状況

区 分	年 間	月 平 均
破 碎 処 理 施 設	運 転 日 数 (日)	258
	運 転 時 間 (時間:分)	1,211:30
せ ん 定 枝 処 理 施 設	運 転 日 数 (日)	114
	運 転 時 間 (時間:分)	360:02
電 力 使 用 量 (Kwh)	322,932.4	26,911.0

## (イ) 内訳

(単位：t)

区 分	年 間 量	月 平 均
有 価 物 処 理	4,640.25	386.69
容 器 包 装 リ サ イ ク ル 法 処 理	2,274.56	189.55
可 燃 残 渣	1,884.81	157.07
有 害 物 処 理	55.72	4.64
再 生 品 販 売	82.39	6.87
そ の 他	613.86	51.15
合 計	9,551.59	795.97

## (ウ) 有価物処理内訳

(単位：t)

区 分		年 間 量	月 平 均	処 理	
破 碎 磁 性 物		70.20	5.85	青梅市リサイクル センター	
鉄 プ レ ス		60.36	5.03		
自 転 車		34.64	2.89		
ス ト ー ブ ・ 傘 等		174.15	14.51		
ア ル ミ	プ レ ス	21.95	1.83		
	ガ ラ ニ ウ ム	15.61	1.30		
混 合 有 価 物		234.70	19.56		
生 ビ ン		57.78	4.81		
綿 布 団		2.61	0.22		
羽 毛 布 団		7.22	0.60		
プ ラ ス チ ッ ク 再 利 用 物		75.26	6.27		
家 電 製 品		12.90	1.08		
小 型 家 電		212.70	17.73		
せ ん 定 枝 微 粉 砕		46.58	3.88		
廃 食 用 油		2.44	0.20		
充 電 式 電 池		0.06	0.01		
新 聞		686.78	57.23		青梅資源リサイクル 事業協同組合
雑 誌 ・ 雑 紙		1,323.51	110.29		
ダ ン ボ ー ル ・ 紙 パ ッ ク		639.19	53.27		
織 維 類		669.99	55.83		
カ ン	ス チ ー ル	135.04	11.25		
	ア ル ミ	156.58	13.05		
合 計		4,640.25	386.69		

※ 空きビン（カレット）、ペットボトル、白色トレイは、下記の容器包装リサイクル法の処理のため含まれない。

## ウ 容器包装リサイクル法処理内訳

容器包装リサイクル法にもとづき、分別収集したガラスビン（カレット）・プラスチック製容器包装・白色トレイ・ペットボトルの再商品化業務を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ委託した。

(単位：t)

区 分		年 間 量	月 平 均	再 生 処 理 事 業 者 名
カ レ ッ ト	白 色	310.07	25.84	(株)ウィズウェイストジャパン
	茶 色	173.20	14.43	
	そ の 他 色	127.04	10.59	中 建 産 業 (株)
プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装		1,287.69	107.31	(株)エコスファクトリー
白 色 ト レ イ		3.14	0.26	(株)加藤商事
ペ ッ ト ボ ト ル		373.42	31.12	(株)エフピコ ジ ャ パ ン テ ッ ク (株)
合 計		2,274.56	189.55	

(歳出 4 衛生費)

## (3) 主な委託業務

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
選別処理業務	粗大ごみおよび燃やさないごみ等の選別処理業務	76,487	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
適正処理困難物処	人工石等の処理業務	538	(有)青梅クリーンリサイクル他	
青梅市行政回収資源物選別処理	新聞紙等五品目選別処理	46,066	青梅資源リサイクル事業協同組合	
不燃廃棄物運搬資源化処理業務	ガラス・陶磁器類の廃棄物運搬資源化処理業務	6,925	ガラスリソーシング(株)	
せん定枝処理業務	せん定枝の処理業務	2,251	(株)大進緑建	5.17~7.31
可燃残さ運搬等業務	可燃残さ運搬等業務	20,103	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
廃プラスチック容器包装等圧縮梱包業務	廃プラスチック容器包装等の圧縮梱包業務	31,568		
せん定枝資源化業務	剪定枝資源化施設運転業務	4,679		
容器包装再商品化業務	容器包装プラスチック等の再商品化業務	1,063		
フロンガス処理	冷風機等のフロンガス処理業務	474	(有)青梅クリーンリサイクル	

## 7 有害ごみ対策経費

## (1) 選別および処理の委託

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
有害ごみ等選別回収業務	リサイクルセンターへ搬入された乾電池および蛍光管の選別回収業務	4,392	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
廃乾電池処理業務	廃乾電池の処理業務	3,281	野村興産(株)	(搬出日) 8.1、11.21、3.11
水銀含有廃棄物(蛍光管)処理業務	蛍光管の処理業務	1,067		(搬出日) 11.21、3.11

## (2) 搬入量および搬出量

(単位：t)

区 分	前年度繰越量	搬 入 量	搬 出 量	年度末保管量
乾 電 池	1.70	41.04	38.97	3.77
蛍 光 管	0.56	11.38	11.41	0.53
計	2.26	52.42	50.38	4.30

## 8 家庭雑排水吸込槽清掃費助成経費

## 家庭雑排水吸込槽清掃費補助金

件 数	金 額	許 可 業 者	備 考
0	0円	青梅新興(株)	補助する額は、清掃経費の2分の1の額とし、9,600円を限度額とする

9 し尿収集経費

(1) し尿くみ取り業務委託

(単位：千円)

区 域	金 額	受 注 者	期 間	備 考
市 内 全 域 (御岳山を除く)	42,560	青梅新興(株)	4.1~3.31	1ヶ月当たり3,250,000円 (消費税抜)
御 岳 山	11,457			1kg当たり30.23円(消費税抜) し尿管点検環境整備
			12.4~2.13	災害特別収集運搬

(2) し尿くみ取り加入件数

一般占有者	特 殊 占 有 者				合 計
	くみ取り式 水洗便所	アパート・寮等	事 業 所	計	
737	379	2	461	842	1,579

(3) し尿年間収集状況

(単位：L)

区 分	年 間	
	件 数	収 集 量
一 般	3,969	530,750
特 殊 (水 洗)	745	194,940
特 殊 (事 業 所)	1,255	434,720
御 岳 山	117	279,830
浄 化 槽 汚 泥	784	2,325,000
合 計	6,870	3,765,240

10 し尿処理経費

(1) 青梅市し尿処理施設管理運営懇談会

ア 青梅市し尿処理施設管理運営懇談会委員

区 分	氏 名	役 職	区 分	氏 名	役 職
会 長	水 村 邦 男	黒沢1丁目第2自治会 代 表	委 員	吉 澤 喜 代 治	黒沢1丁目第2自治会代表
会長職務代理	水 村 匡 弘		〃	小 村 建 一	処 理 事 業 者 代 表
委 員	小 村 明		〃	築 地 國 雄	

任期：平成30年7月1日～令和2年6月30日

イ 懇談会開催状況

開 催 日	内 容
2.7	し尿処理場の運営状況について

(歳出 4 衛 生 費)

## (2) 主なし尿処理業務委託

(単位：千円)

区 分	金 額	受 注 者	期 間	備 考
し尿処理	34,501	青梅新興(株)	4.1~3.31	2,301,800円/月(税抜) +薬品類実費
脱水汚泥等処分	1,526	(株)エコ計画	4.1~3.31	脱水汚泥処理 1t 17,000円(税抜) し渣処理 1t 50,000円(税抜)
	2,700	よりいコンポスト(株)		
脱水汚泥等運搬	3,170	青梅新興(株)	4.1~3.31	1回当たり29,420円 (税抜)
脱水汚泥等検査	499	(株)環境管理センター 技術センター	12.24~2.14	

## (3) 主な施設管理業務委託

(単位：千円)

名 称	金 額	受 注 者	期 間
し尿処理場施設点検整備業務委託	27,591	日立造船(株)東京本社	4.1~3.31
し尿処理場受入槽等清掃業務委託	675	青梅新興(株)	9.9~9.27
し尿処理場自家用電気工作物保安 管理業務委託	314	(一財) 関東電気保安協会	4.1~3.31

## (4) し尿・浄化槽汚泥処理状況

区 分	青梅市	福生市	羽村市	瑞穂町	合 計
し尿投入量(kg)	1,237,600	65,430	92,540	271,470	1,667,040
し尿投入割合(%)	74.2	3.9	5.6	16.3	100.0
浄化槽汚泥投入量(kg)	2,390,990	43,280	562,070	1,201,260	4,197,600
浄化槽汚泥投入割合(%)	57.0	1.0	13.4	28.6	100.0
脱水汚泥処分量(kg)	139,003	4,042	25,150	56,365	224,560
し渣処分量(kg)	799	23	144	324	1,290

※青梅市の処理状況には、下水道事業会計における公設浄化槽を含む。

## 11 浄化槽清掃料金軽減措置経費

## 浄化槽清掃料補助金交付状況

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
ば っ き 型	18	171
腐 敗 型	1	13
小 型 合 併 型	30	486
合 計	49	670

12 リサイクルセンター管理経費

(1) 主な委託業務

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
日 常 清 掃	日常清掃業務	645	(公社)青梅市シルバー人材センター	4.1~3.31
警 備 業 務	建物警備業務	447	セコム(株)	
屋 外 清 掃	屋外清掃業務	398	(有)青梅クリーンリサイクル	
破 砕 施 設 総 合 点 検	破砕処理施設の総合的な点検業務	6,490	メタウォーター(株) 営業本部東京営業部	6.4~3.31
コンパクトおよび コンテナ保守点検	機器の保守点検業務	1,800	新明和工業(株)	6.5~3.31
クレーン設備 点 検 整 備	天井クレーン等の保守点検業務	1,002	(株)日立プラントメカニクス関東支店	5.31~9.30
ごみ搬送 コンベヤ等清掃	搬送コンベヤ等清掃業務	7,231	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
消 防 設 備 保 守 点 検	消防用設備保守点検業務	446	(株)星光	
自家用電気工作物 保 安 管 理	自家用電気工作物の保安管理業務	605	(一財)関東電気保安協会多摩事業本部	
各集水ピット汚泥 引抜および清掃	各集水ピットの汚泥引抜と清掃および水質検査の業務	872	(株)環境システムサービス	7.5~3.31
粗大ごみ受入れ コンベヤ等清掃	粗大ごみ受入れコンベヤ等清掃業務	832	(株)日本管財環境サービス東京支店	6.25~9.30

(2) 主な修繕

(単位：千円)

修繕名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
粗大ごみ破砕機 刃 取 替 修 繕	破袋刃の交換	19,800	メタウォーター(株) 営業本部東京営業部	6.18~12.20
せん定枝破砕機 緊 急 修 繕	破砕刃、駆・従動シャフト交換	7,992	(株)アーステクニカ	4.26~8.30
No.2不燃物コンベヤ 修 繕	ベルト、電動機の交換	5,535	メタウォーター(株) 営業本部東京営業部	12.19~3.30
不燃ごみ供給 コンベヤ修繕	チェーンの交換	5,315		12.5~3.30
破砕機刃物コンベヤ チェーン修繕	チェーンの交換	4,688		10.21~3.18

13 御岳山ごみ処理施設管理経費

(1) 委託先

受 注 者	金 額	期 間	備 考
御 岳 山 自 治 会	944千円	4.1~3.31	排出される生ごみを必要に応じ、市が設置した生ごみ処理機で処理する

(歳出 4 衛 生 費)

## (2) 生ごみ処理量

(単位：kg)

1・4号機（氷川道）	2号機（神社下）	3号機（番場前）	計
8,706	7,056	3,597	19,359

## 14 西多摩衛生組合経費

(単位：円)

区分	組合 総負担金	算出率	負担割合	算出額	前年度 繰越金	調整額	青梅市 負担金
事務費	161,536,000	1/2 均等割	1/4	20,192,000	3,292,149	△187	55,426,000
		1/2 人口割	47.70%	38,526,336			
地元補償金	羽村市へ 32,000,000	20/100均等割	1/3	2,133,333	0	1,360	25,362,000
		80/100人口割 ※1	59.53%	15,239,681			
	瑞穂町へ 16,000,000	20/100均等割	1/3	1,066,667			
		80/100人口割 ※2	54.07%	6,920,959			
余熱利用 施設事業費	105,170,000	人口割	47.70%	50,166,090	9,655	△435	50,156,000
じんかみ処理費	1,230,104,000	実績投入	46.52%	572,244,381	8,471,429	△952	563,772,000
公債費	198,773,000	人口割	47.70%	94,814,721	651	△70	94,814,000
合 計							789,530,000

※1 羽村市を除いた2市1町での青梅市の人口割合

※2 瑞穂町を除いた3市での青梅市の人口割合

## 15 東京たま広域資源循環組合経費

(単位：千円)

区分	組合 総負担金	算出率	負担割合	算出額	青梅市 負担金
管理費	387,858	1/4 均等割	1/26	3,729	13,218
		3/4 人口割	※2 3.2620458%	9,489	
事業費	谷戸沢処分場事業費 640,330	搬入比率	※3 3.8643791%	24,745	24,745
	二ツ塚処分場事業費 ※1				
	建設管理費 1,912,768	搬入実績比率	※4 3.8754795%	74,129	74,129
	エコセメント事業費				
	施設建設費 1,323,107	搬入実績比率	※5 3.4056513%	45,060	211,114
	固定費 940,906	1/4 均等割	1/26	9,047	
		3/4 人口割	※2 3.2620458%	23,020	
	変動費（湿灰分） 2,638,960	搬入実績比率	※6 0.9228031%	24,352	
	変動費（乾燥灰分） 726,202	搬入実績比率	※7 11.4623752%	83,240	
	修繕費 （湿灰・乾燥灰共用設備分） 742,765	搬入実績比率	※8 3.4656887%	25,742	
修繕費 （乾燥灰専用設備分） 4,471	搬入実績比率	※9 14.6080401%	653		
減容化計画精算額					△5,049
合 計					318,157



- ※1 埋立処分費は、平成29年度青梅市未搬入のため負担なし
- ※2 構成市町全体の人口4,122,413人のうち青梅市の人口134,475人
- ※3 搬入比率（26団体 2,589,600m<sup>3</sup>、青梅市 100,072m<sup>3</sup>）
- ※4 搬入実績比率（26団体 1,178,151m<sup>3</sup>、青梅市 45,659m<sup>3</sup>）
- ※5 搬入実績比率（26団体 1,766,505 t、青梅市 60,161 t）
- ※6 搬入実績比率（26団体 64,044 t、青梅市 591 t）
- ※7 搬入実績比率（14団体 15,721 t、青梅市 1,802 t）
- ※8 搬入実績比率（26団体 1,135,705 t、青梅市 39,360 t）
- ※9 搬入実績比率（15団体 152,286 t、青梅市 22,246 t）

16 リサイクルセンター施設整備経費

(1) リサイクルセンター整備事業 (単位：千円)

委託名称	委託内容	金額	受注者	契約期間
青梅市リサイクルセンター 容器包装プラスチック処理 ライン設置工事発注支援 業務委託	工事契約候補業者を選定する プロポーザルに関する支援	1,991	国際航業(株) 多摩営業所	10.23～3.31

(2) 債務負担行為にもとづくリサイクルセンター整備事業

ア 委託

(単位：千円)

委託名称	契約金額	令和元年度 支払額	令和2年度 支払額	受注者	契約期間
青梅市リサイクルセンター 容器包装プラスチック処理 ライン設置工事監理委託	6,204	1,800	4,404	国際航業(株) 多摩営業所	2.3.6～ 3.3.15

イ 工事

(単位：千円)

工事名称	契約金額	令和元年度 支払額	令和2年度 支払額	受注者	契約期間
青梅市リサイクルセンター 容器包装プラスチック 処理ライン設置工事	148,500	59,400	89,100	メタウォーター (株)営業本部 東京営業部	2.2.28～ 3.3.15